京城日報

廿八日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘一ヶ月金五拾錢（郵送料前金）三ヶ月金壹圓四拾五錢六ヶ月金貳圓七拾錢
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢▲場所指定一行金壹圓▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局三四番 營業局二二二番 振替貯金口座 京城二〇〇番

◎支那政界の混亂 實力無き中央政府＝今後の變化大に刮目に値す

支那の政界は唐紹儀氏の辭職、張勳、馮國璋氏等一派の彈劾にて混亂外部に爆發したる觀あり總統府及び晳國民黨一派は徐州會議を輕視し居るも馮國璋氏の勸誘は中央をして事容易ならざるを覺らしめ段總理は十三省同盟も鞏固なる根柢無し法を以て慰撫せば大事に至らずと語りつゝあり二十六日まで解散せしむる手續を講せざりしが最近に至り實力無き中央政府は武力にて之を抑ゆるの不可能なるを說き居る有樣にて今後の變化大に刮目に値す（北京特電）

◎羅馬尼人の歡喜 ドブルヂヤ勃軍の攻勢沮止さる

ブカレスト來電＝羅馬尼人はドブルヂャに於ける勃軍の攻撃が沮止せられたるを信じ歡喜しつゝあり敵が多大の增援を得可しとは信せられずブカレスト、ブラッソ間の直通列車は廿四日初めてブカレストを發せり又ペトロセニーに於ける羅軍の退却は單に地方的の者にして全局に影響する事無しと（倫敦電報）

◎ヴエネゼロス雅典を去る

雅典來電＝ヴエネゼロス氏は提督コンドウノリオチス氏と同伴にて雅典を去り國民黨の運動を指導する爲クリート島及びサロニカに赴けり（倫敦電報）

◎獨逸の兵員缺乏

獨逸は兵員缺乏の結果徵兵不合格者中より更に壯丁檢査を行ひ徵兵し居れり（紐育電報）

◎露貨鑄造終了

大阪造幣局に於て鑄造中なりし露國貨幣一千九百五十萬留は此の程全部鑄造を終へたり（大阪特電）

◎海軍大演習

十月中旬紀州沖に於て海軍大演習擧行せらるゝに決定せり（東京電報）

◎海軍大更迭か

海軍省に於ては將官以下の拔擢を行ふと共に大更迭をなすべく目下準備中なりと傳へらる（東京電報）

◎石川事件判決期

大審院に於て審理中の石川縣選擧無效事件は十月五日判決言渡ある筈（東京電報）

◎三線問題と釜山

大屋鐵道局長官三本理事の一行は二十八日釜山發壹岐丸にて東上せるが釜山商業會議所會頭外役員は三線連絡運賃問題に就て長官に對し具申する處ありたり（釜山特電）

◎吉原東拓總裁

吉原東拓總裁は廿八日朝高麗丸にて著釜午前十時三十分發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

◎京都市長就任勸告使

中川藝銀副頭取京都市長就任勸告使橋井、池田、瀨川の三市會議員は目的を達する能はず八日午前亞米利加丸にて門司著同九時五十分下關發列車にて上洛せり（門司特電）

◎政務總監饗應

山縣政務總監は二十九日午後四時より大和町の官邸に目下會議の爲め入京中なる各稅關及び稅關出張所の檢査課長を招き茶菓の饗應をなすべく席上多分一場の訓示あるべく度支部よりは水口關稅課長等列席すべし

◎鬩牆の醜態を排す 三線問題＝大連の主張は地方的利害論のみ＝其使命を曉れ

三線聯絡運賃問題に對し大連有志の運動熾烈を極め來るや吾人朝鮮側にありては此の問題の爲めに

▲鮮滿怨を構へ て相爭ふの不可なるを思ひ且つは國家政策の趨步は當然公明の大道に從ふべきが故に此問題の解決は其間自から歸著する所あるを信じ大連側の漫罵論難は宛然朝鮮を以て仇敵視せるもの如くなるにも拘らず努めて大連側の名譽を尊重して之を傷けんことを警しめ苟くも論議するの必要を感じては最も穩健なる立場より之を爲し煽動的言動を避け來りしが、一方に於て等しく滿洲の地にあり乍ら安奉線運賃距離比例制について大連と奉天とは贊否主張を異にし前者は反對し後者は贊成し、此れが爲めに兩者の間に感情の疎隔を來し聞くに忍びざる

▲人身攻擊の聲 をすら耳にし、醜狀睹るに堪へざらむとす、吾人は偶ま奉天有志が朝鮮側と意見を一致せるが故に敢て奉天側の利益の爲めに言ふものに非ず但だ如何に同情の眼を以て見るも大連側の態度は非紳士的なるを遺憾とす若しも大連側の主張する所が滿蒙發展の絕對要策なりとせば、何ぞ奉天獨り此れに反對の職を挾む事あらむや、然らずして茲に大連の唱ふる所奉天の贊同を得る能はずとせば大連の主張は卽ち大連の利害を中心とせる

▲大連本位の主張 にして滿洲全體を通じて動かす可らざる根本政策なりとは認め得ざるに非ずや之れを以つて猶ほ絕對の要策となし之に反對する者を以て不倶戴天の仇敵視するが如きは固陋偏狹嗤ふに堪へたり。往年露國の經營下に在りし時に於いての大連港と今日の大連港とを以て其の經濟的重要の度を同一視せんとするは非也南北滿洲を以て一個の經濟地帶となし特殊の經濟的關係の存したりし時に於いては大連は其商港として唯一無二の排他的勢力を發揮するを得背後地の物資を此の一港に輻輳せしむるを得たるべしと雖も、今日經濟上に於ては朝鮮と滿洲とは自ら相通じ俱に一國たるの實を擧げつゝあるの際に於て倘且つ大連を以て大陸經營の焦點たらしめんと企圖するは之れ帝國の大陸發展を助長するにあらずして却つて發展の趨步を阻むものと謂ふべき也且つ其れ

▲大連港の使命 は對外商港として存立するに在り、日本內地との貿易の要港たらむことに汲々として却つて支那、南洋、米國、歐洲等行くとして可ならざるなき廣大なる市場に對する貿易港として最も有利なる地位を占るに非ずや此の地位を有效に利用するは卽ち大連の繁榮を永久に維持する所以にあらずや吾人は貨物には自から、陸路と海路と其の執るべき分野を生ずべきを、信ずるが故に三線問題が原案通り解決實行せらるとも世界的商港としての大連の價値を減却し之を衰運に導くものとは到底思ふ能はざる也吾人の眼を以てすれば今日大連の主張するところは餘りに

▲地方的自利心 に驅られ慾の上に慾の皮を著せたるものにして地方的利益に大陸政策の假面を被らせたるものに過ぎずと謂はざるを得ず今日滿洲に於て兄弟牆に鬩ぐの醜狀を見て吾人は深憂に堪へざるものあり、在滿邦人の猛省を促がし朝鮮の識者の省慮を要望して已まざる也

◎元帥旅程變更

北滿洲に於ける駐屯軍演習觀戰の爲め渡滿すべき元帥子爵川村景明氏の來鮮に就ては昨報せしが其の日程に變更を來せり乃ち元帥は十月二日午後四時東京發三日午後八時廿四分下の關著同夜乘船四日朝釜山著同日午後九時入京朝鮮ホテルに投ずべく京城滯在は六日迄三泊にて其間總督府訪問、兩宮參候並に龍山に於ては兵營の巡視をなし都合により仁川の往復も試むべく七日午前九時二十分南大門發京元線にて午後四時四十五分元山著一泊八日元山發同夕京城著ホテルに入り九日午前八時二十分南大門發の鮮滿直通列車にて出發同日午後一時三十三分平壤著牡丹臺及び兵營の巡視に費やし十日午後三時三十分平壤發北行同夜新義州一泊翌日義州及び九連城を巡視し十一日安東發十二日公主嶺到著の由なるが元帥は未だ朝鮮を知らず其の渡來は今回が初めての由而して歸路は大連より乘船すべく倘ほ高橋總督附武官は元帥出迎の爲め永登浦若くば水原迄赴くべしと

◎長谷川元帥

長谷川元帥は川村元帥と共に北滿演習觀戰の爲め渡滿する事となり居る由なるも未だ其の朝鮮通過に就ては何等當局に通知なく或は往路船便にて大連に上陸し歸路朝鮮を通過するに非ずやともいふ

◎千輪副官訪問

軍司令部副官千輪砲兵大尉は二十八日午前總督府に高橋武官を訪ひ川村元帥來鮮に關し其の視察箇所の打合せ等をなしたり

◎稅關檢査課長會議

各稅關及び稅關出張所檢査課長會議の第四日は引續き總督府會議室に開會水口關稅課長議事を整理せしが午後三時過ぎ散會せり

◎池田長官歸任

金剛山視察中なりし池田遞信局長官は廿七日歸任の筈の處海上風浪の爲め遲延し二十八日午後南大門驛著歸任せり

◎米國大使來解

駐日米國大使ガスリー氏夫妻は十月二日夜釜山上陸三日夜南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに入るべく五日迄滯在六日午前發の鮮滿直通列車にて北行する由

◎ノウザン氏入京

支那開平礦山支配人英國陸軍少佐ノウザン氏夫妻は二十七日夜南大門著列車にて北京より入京朝鮮ホテルに滯在中なるが同氏は有名なる支那通なりと

◎吉原總裁歸京

東拓總裁吉原三郞氏は二宮秘書役を隨へ廿八日朝釜山著直ちに北行列車に搭乘同夜九時歸京すべし

◎燐寸會社認可申請

仁川燐寸製造株式會社設立の件につき美濃谷榮次郞、田中佐七郞、白神專一、阪倉伊平、和田友太郞の諸氏は種々協議の結果二十七日午後二時より田中、白神、和田の三氏目論見書起草の上發起人の調印を求めたるが至急其筋に對し會社設立認可申請の手續をなす可しと

◎龍山有志大會

龍山市政問題に關する各町總代の協議會は二十七日午後四時より元町本願寺に於て開會來會者約六十名にして舊龍山の石原磯次郞氏を座長に推し議事を開きたり提出事項に就ては大村百藏氏より一々說明をなし一同の贊同を求めたるに對し第九項の停車場新設に關する件は倘ほ充分調査を行ふの必要あるべしとの說を爲すものあり遂に既報の議案十項中より停車場案を刪除し他の九案に對し三字句の修正を加へたる上全員の贊成を得玆に決議案を決定するに至りたり而して今後實行方法に就ては問題中にも前後緩急の別自らあるを以て十四名の委員を擧げて之に調査を委託すべしとなし選擧の結果

執行委員 石原、大村、大和、若狹、小谷、國頭、多田、富月、正木、松本、齋藤、渡邊、磯谷

の諸氏を擧ぐるに至りたり右の委員は二十九日午後一時より委員會を開會して運動方法を攻究することゝなり十二時頃散會したり倘ほ此運動は其初志を貫徹せんため『各町聯合委員會』なる會名を附し運動に要する費用は會員の任意醵出に俟つことゝなりたりと

◎京城府協議員會

京城府協議員會は二十七日午後委員會を開會して附託事項に就き打合を爲す所ありたるが其結果二十八日午後三時より本會議を開き全部決定するに至りたり

◎木曜會例會

京城木曜會例月會を廿八日午後七時より京城ホテルに開きしが席上野坂度支部事務官の滿洲露西亞視察談ある由

◎辭令

十一級俸下賜 朝鮮總督府技師 淸水武紀
度支部稅務課勤務ヲ命ス 朝鮮總督府技師 淸水武紀
朝鮮總督府郡守 尹壽炳
朝鮮總督府郡守 張錫元
十一級俸下賜（各通）
咸鏡北道慶興郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 張錫元
咸鏡北道會寧郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 李應遠
咸鏡北道吉州郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 盧鎔
咸鏡北道鏡城郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 柳基德
全羅北道錦山郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 尹壽炳
全羅北道任實郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 金基泓
全羅北道井邑郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 金宰斗
全羅北道長水郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 韓旭
全羅北道扶安郡在勤ヲ命ス 朝鮮總督府郡守 金正基
任朝鮮總督府檢事 朝鮮總督府判事 岡本勝治
依願免本官 朝鮮總督府技師（高等官六等）遞信局技師 國友信

◎金久保旅團長來田

步兵第四十旅團長金久保少將は第三期檢閱の爲め二十七日午後五時著列車にて來田千歲旅館に投宿せしが廿八日檢閱を了し廿九日零時三十分發列車にて歸邸の筈（大田）

◎兵庫縣視察團出發

入京中なりし兵庫縣視察團一行十六名は廿八日午前八時三十分南大門驛發列車にて木浦に向へり

◎自用酒製造者注意

酒稅令施行前に於ける京城府管內自家用酒類製造者は殆ど三百人に達したりしも酒稅令に依り見込石數を申告し出たるものは今日迄僅に二十九名に過ぎず若し九月末日迄に申告を爲さゞるときは十月一日よりは製造業者として取扱ふことゝなり從て一石未滿の製造者と雖も濁酒藥酒は五石迄燒酒は二石迄製造したるものと見做して濁酒は三圓五十錢藥酒は七圓五十錢燒酒は十圓以上の酒稅を賦課せらるゝことゝなれば自家用酒類の製造繼續を望むものは是非共九月末日迄に見込石數を京城府廳に申告すべしとのことなり或は自家用酒の申告をなせば濁酒一石迄一圓なるも申告により製造業者の取扱を受くるに至らば一石七十錢を納付すれば足れるもの丶如く考ふるときは大なる誤解なれば充分注意を要すべしと

元山

▲元山中學設置協議 過般元山府廳內に於て開かれたる學校組合會の際中學校設置に關し村地府尹は出席議員と共に協議するところありたるが今其の內容を聞くに若し當局にして現在の狀勢に鑑み元山に中學校の設置を聽許さるゝに至らば同敷地として目下元山學校組合の所行に屬する松興里裏なる二萬五千餘坪の地域を寄附すべしといふにあり▲直江津丸と浦鹽航路 芝罘交通公司に於ては新たに元山、浦鹽間航路を開始し貨客の運送をなし北支那方面と淸津、浦鹽、元山等の連絡を計るべく毎月五回宛の航海を繼續する事となり二十七日元山出帆初航の筈なりしも直江津丸は般過浦鹽に直航の際荷役の都合上同港出帆遲延の爲め從つて初航海も延期せざるべからざるに至れるが同船第一回元山出帆期は廿九日頃なるべし▲元山大隊三期檢閱 本月上旬を以て行はるべかりしを諸種の事情の下に延期されたる元山大隊第三期檢閱は今回軍旗奉拜式を兼ね加藤聯隊長並びに陽德中隊の來元中二十六日より二十八日の三日間に於て終了すべき豫定▲修養同好會 元山修養同好會は二十八日午後七時より例の如く東本願寺別院に於て開會、輪番溪內式惠氏の嘆異鈔の講義ありたり

清州

▲金融組合出張所開設 豫て出張所開設の準備中なりし永同地方金融組合黃澗出張所及び陰城金融組合無極出張所は今般設備漸く調ひたれば黃澗は去る廿五日無極は來月四日何れも事務の開始をなすべしと▲忠北秋繭共同販賣 忠北各郡產秋繭共同販賣は淸州郡の擔任にて去る廿六日忠北道廳內に於て行ひたるが特等最高價格五十五圓三十七錢二等繭同四十八圓四等繭同三十七圓六十五錢にて信州片倉組に落札したり▲金融組合移轉 豫て廳舍移轉準備中なりし淸州地方金融組合にては既に國有貸付耕有買收等敷地の準備を終りたれば近く工を起し遲くも十月末迄には全部の移轉をなすべしと▲美湖川橋入札 忠北道にて設計中なりし鳥致院街道美湖川橋修繕工事は今回愈々準備を終りたれば來月四日指示入札に附し至急工事に取掛るべしと

西鮮行寸信

二十六日開城より 日新生

▲列車は只今開城驛に著し申候滿月臺邊燈灯頻りに明滅して齎都を訪ふ秋の夜風如何にも肌寒む氣なれども滿員の車內は蒸し暑きこと限りなく冬服の小生は寸時も手巾を離す能はず誠に閉口罷り在り候

▲されど室內には樂山金鑛主小林藤右衛門氏あり遞信局の組橋氏あり平壤高普の田中校長、廣梁灣鹽田の管田技師等亦はしなく乘り合はされたる事とて談は有ゆる方面に發展致し興趣却々に盡き申さず候

▲田中校長が慶州で拾ひしてふ人形は高さ一寸許り坊主が法螺の樣なものを吹いて居る形に候が此は恰も千古の掘出しものゝ如く恐悅措かず次から次へと見せ廻られ候

▲管田技師は廣梁灣の製鹽狀況を說いた後此れを五斗俵に入れて鐵道沿線に並べる時は同鹽田より鳥致院まで續くとて聽衆を感心致させ候

▲發車に間も無く候間餘は後便に讓り候

二十七日未明沙里院より

▲ボーイに搖り起されて目覺むれば午前三時、列車は既に沙里院に著し居り候

▲小林氏及び氏の母堂と共に驛前の岡田旅館に投じ候小林氏の母堂は今年取つて七十九歲と承り候が耳も目も達者なること壯者も及ばず今度も樂山の鑛祭に參列す可く自ら進むで登山の事と相成り候由に御座候

▲其れに引き換へ小生は例の如く胃痛を惹起し型の如く重曹を飮むで氣息淹々つくゞゝ造化の偏頗を恨み申候

▲明日は午前九時沙里院出發載寧より小林氏と別れて同所の鑛山を視察し信川に旅裝を解く豫定に候が意外風荒むで行程を氣遣はしめ申候

仁川

▲亥角課長視察 總監部亥角庶務課長は防疫視察の爲め二十八日午前十時來仁松元署長の案內にて管內を視察したり▲防疫費寄附 菊池醫師は二十七日防疫費として十圓寄附したり▲愛婦委員の勸誘 愛國婦人會仁川委員部にて鮮人患家中衣食に窮し居る者に對し衣類を施與すべく各方面に向け古著其他寄附の勸誘しつゝ有り▲奥田會頭歸任 仁川商業會議所會頭奥田貞次郎氏は豫ねて京阪及び東京に出向中の處二十八日夜歸仁したり▲三河丸入航 橫濱航路の三河丸は二十八日入港したり▲丁氏等の寄贈 丁致國氏其他鮮人側有志は新花水里隔離病舍の設立當初の事とて諸般の設備整はざるを遺憾とし毛布百枚蒲團五十枚を寄附したり

大田

▲部長歸公 錦山道路改築豫定計畫の爲め金郡守實業協會員と共に錦山に向ひし澁谷本道第一部長は廿六日夜半一行と共に歸田廿七日は種々協議する所ありて午後五時發列車にて鳥致院を經て歸公せり▲演習宿割 十月十六日より約十日間湖南平野にて步兵第四十旅團第七十九第八十聯隊對抗演習の爲め大田市中に十六日より十九日まで四日間及び二十三日と五日宿泊する筈にて市中各戶に對し宿割をなしたり▲錦山道路協議 錦山道路踏査員の報告を兼ね善後策に關し大田協議會員及び實業家は組合會議室に協議會を開き協議する所ありたり▲中田技手來田 中田水原模範場技手は病理研究の爲め廿七日來田直に白石農園に向ひ懸案の被害に對し研究し廿八日錦山に向ふ筈

人事消息

▲森安連吉氏（醫學博士）二十七日夜水原より歸任
▲藤沼武男氏（警務總監部試補）二十七日夜仁川より歸任
▲亥角仲藏氏（警務官）二十八日午前仁川へ
▲神藤賢氏（忠北技官）廿八日午前出發歸任
▲ケプトレル氏（京城駐在獨國副領事）二十八日午後仁川へ
▲服部親信氏（京畿道警務部長）二十八日午前內地より歸任
▲岡田榮氏（辯護士）上京中の處廿七日夜歸京
▲小幡虎太郎氏（朝鮮新聞支社長）二十八日內地より歸京
▲河井朝雄氏（大邱民報社長）同日歸邱
▲鷹澤義夫氏（海州憲兵隊長）二十八日朝海州へ向けて出發

□殷栗より 靜軒

松禾より六里、九月山麓なる殷栗に著任、候。山の街は旅愁切なるものにて有之候、本日は安岳の方へ參り候（廿六日）

朝寒や旅に瘦削る山の街

沙里院より

安岳より新換浦、船艙を經て只今沙里院に著。途上の秋色漸く長けて冷氣頓に加はり申候。（廿七日）

波ひた寄する浦の渡しや蘆の風

○沙魚 （朝刊一面俳句の訂正） 鳥堂

石船過る時の見素ぼらしき沙魚

○ 黃丘

沙魚喰ひ盛る腿までの雫

朝鮮に飛行場設置か
大演習後に大飛行擧行されん

陸軍にては航空隊の大擴張を爲すべき計畫を立て其第一次計畫として先づ愛知縣各務ヶ原に飛行場を設くる事となりしが更に議會の協贊如何によりては東北及び九州地方に一ヶ所宛新設し本邦內地の飛行普及を計る外滿洲に對する根據地として朝鮮にも大飛行場を新設すべしとの事なり朝鮮飛行場に就ては當局に於ても至急新設の必要ありとの議高きも滿鮮地方は氣流溫度等內地と異なる點多きより各務ヶ原の如く所澤航空隊の飛行機及び操縱者を直ちに充當するは危險あり朝鮮は朝鮮として先づ氣流溫度の變化等より研究し機體及び發動機の如きも特種のものを作る必要あれば獨立的の研究所を設け規模大なるを要すべしとの事なり尙今春朝鮮にて擧行する筈なりし飛行演習が實施に至らざりしは氣流狀態の研究至らざりし爲なりしが來るべき特別大演習の後に於ては京城附近を中心として各方面に二三機を以て遠距離野外飛行を試み主として高層氣流の狀態及び變化等の瀨踏みを爲すべくそれにて大飛行場新設の大體方針も定めらるべしと云ふ（門司）

伯林全市大震動

クルップ會社工場に於て製造中の爆彈爆發せしため伯林全市震動し同工場に近き重なる建物は多大の損害を蒙り多數の死傷者を出せり（紐育電報）

二百餘隻の交通遮斷

廿二日牧の島沿岸に繋留の漁船中に虎列拉發生したる事は既報の通りなるが同所附近に繋留の帆漁船二百餘隻は交通遮斷及び一定期間の停留を命せられたり又同區域內の海水に排泄物を投棄せるを以て海水の使用を禁ずると共に釜山水產會社の生洲中に飼養しありし鯛は媒介の怖れあるより全部港內に放ちたり府立傳染病院にては釜山港內の海水を各方面より汲み取り海水の檢鏡を行ふ筈（釜山）

あられもない妓生の訴訟沙汰
綺麗どころの原告が四十名被告が八十一名
千圓の花代の代りに取った太華館の諸道具

何の稼業にも商賣敵の睨み合ひ、小競合ひは有勝だが、人氣稼業の

粹に碎けて 心に針は含みながらも、表面には輕う笑ふてその場を過さうとするのは花柳の里の常なのだが、此の世智辛い世の中にそんな掟が守られるものかと、茲に平案から犬猿の中の漢城（廣橋）妓生組合の金外春外四十名の妓生が星田辯護士を訴訟代理人として大正（茶洞）組合の金明玉外八十一名を相手取つて此程債務辨濟に依る家財賣買行爲の取消といふやうな、厳つい公事を京城地方法院に持ち出したその理由といふのは鍾路警察署の裏通りに

朝鮮一流の 料理店として本年一月から營業を開始した太華館がその營業成績が思はしくなく近頃になつて四十餘名の債權者に五千數百圓の負債を生じたゝめに七日になつて廢業したがその內の大口の債權者に前の漢城妓生組合事廣橋連の花代五百六十二圓九十九錢があり大正妓生組合事茶洞連の花代千九十一圓五十四錢があつて孰れもその債權履行を虎視眈々で睨んでゐたが茶洞側には斯ういふ方面にかけて軍師があつたと見ねて眼の上の瘤なる廣橋連の鼻を明して度膽を拔くのは此の秋と思つたか何うか七月の廿六日に債務者たる太華館主洪敎學の不在の際

同家に乘込 んで千九十一圓の代償として營業用の椅子卓子からナフキン、珈琲皿、上草履、將棋盤迄二百餘品千五百點を提供せしめて終つて仕舞したりと手を拍つてゐるのを同じ債權者たる廣橋連が之れを聞いて頭を由げ然かも相手が茶洞では尙更承知が出來兼ねると扨てこそ姬御前のあられも無い弄玉、彩紅などの名前を四十餘名づらりと連ねて相手方の花姬、春紅、桂花などと優に

優しい名前 を八十ばかり列記して太華館と茶洞組合の前記の賣買行爲は之れを取消されたしとの訴訟を起したのだとはさても近頃色消し沙汰かな

漢城妓生組合取締　金春外春

大正妓生組合取締　金明玉

これが露西亞式
△未決監に十九箇月

當年四十六歲ミハイル、オクーテフといふ男は橇に酒六十四瓶を積んで黑河から露領に歸つて來る處を『密輸入者待テ！』とばかり露兵に捕へられ其儘警察へ送られたのである、それは恰も昨年の二月六日の出來事だ處が未決監に投り込まれたまゝ十九箇月と九日間を經過し、辛うじて本月の十四日裁判所の公判廷に引張り出されたのである。審理の結果有罪と認められ罰金五百二十七留若し罰金不納の時は三箇月拘留之に加ふるに四箇月の禁錮及び一箇年の國境外追放を宣告せられたるが右の中四箇月の禁錮のみは未決監拘置で差引帳消しとは本人に取りては餘り有難くも無からう（長崎）

電車と競走
怪我して大目玉

京城水標町壽美屋洋服店雇人朱三天（二七）は二十七日午後所用の爲め自轉車にて黃金町通りを進行中折柄黃金町より光熙門に向け京城電氣會社の百十七號電車が疾走中なるを見て同電車と速力を競ひて並行するより運轉手より警告を受けたるに尙並進し同町三丁目にて電車の前を橫斷したる刹那救助網に觸れて刎ね飛ばされ右腕に擦過傷を負ひ自轉車は破壞されて用をなさゞるに至りたる騷ぎに最寄りなる本町署の巡査派出所より警官出張取調べの上三天の不心得を說諭したり

鱗に菌が居た
生魚臓腑の檢鏡

京畿道警務部にては市內十數個所の魚市場、魚類商より二十餘種の生魚の臓腑を採りて虎菌の有無に就き檢鏡の結果旭町市場より提出に係る二十六日仁川より入荷したる鱗に虎列拉菌を發見したり、仁川にては既に港內の漁撈は嚴禁しあるも港外にて漁獲したる生魚を水揚げする際又は其他の場合に於て何時虎菌の附着するやも計り難き次第にて此際仁川方面の生魚に就ては特に警戒を要すべく當局に於て仁川魚類の京城搬送の禁止となれば營業者は大打擊となるべきを以て今の所別に禁止命令はなきも此際特に一般需用者の嚴重なる警戒が最も肝要なるべしと

內地へ歸る海女
一人前の所持金六十圓

毎年內地から北朝鮮沿岸に出稼ぎに來る海女は大府多い是等は中國筋より四國及び大阪附近並に伊勢方面の者で春に渡りて秋期に入ればボツボツ歸る、一人前の所持金は大抵五六十圓位で昨今は歸國の季節に入つたので二十六日釜山發の大阪商船安平丸には百名程乘船した之等は大阪附近の者で虎列拉の流行地たる大阪を經由すれば故鄕へ歸る事が出來ぬと云ふので兵庫にて乘替へる事に定めてゐる之れから引續き歸國者が多いであらう（釜山）

兄弟で夜討ち
父の仇、觀念せよと

慶南山淸郡生草面新淵里趙仁堂介（三二）同人弟億三（一九）兩人は實父が以前同里金和寶の妻を誘拐したることを同里の朴來範（七二）が知りて其の旨を官憲に申告したる形跡あるより所詮檢擧の免れ難きを豫想し八月二十五日夜附近の河に投身して自殺するに至りたるを以て兄弟兩名は朴來範を怨むこと甚しく實父の仇敵なれば仇討ちをなさんと共謀し同月二十七日午後八時頃兩名は庖丁及び棍棒を携へ朴來範方に襲擊したるに來範は早くも覺りて堅く門を閉して身を匿したるより其の扉を破壞して侵入し父の仇觀念せよと同人及び妻崔順伊（五〇）を亂打し更に翌日も赴きて暴行せんとせしも里民に防止されて果さず兩名は遂に山淸憲兵分遣所員の探知する所となりて逮捕されたり

京城で自分一人と思ふな！
多い中でも多いのは田中さん中村さん

京城郵便局長の話に據れば同局の郵便電信配達區內で一戶を構へて居る居住人（同居人及び下宿人の如きものも名札を揭ぐるものは一切網羅す）の住所氏名を悉皆調査して原簿を作り上げて見た處が總體にて八千五百戶程あつた是から向後各戶各人の移動ある毎に之を訂正して何時見ても現在の住所が判明する樣にする筈である此の

八千五百戶 の內で同姓の多きものを試に列擧して見ると二十名以下のものは省きて先づ第一番に多きものは田中と云ふ人が百三十三名●中村が百二十八名、山田が百二十名●佐藤が百〇五名、●渡邊が九十八名、●伊藤●山本が九十名、●鈴木が八十一名、●吉田及び松本が各七十七名、●林が七十名、●森及び高橋が各六十七名、●小林が六十六名、●井上が六十一名、●加藤が五十五名、●木村が五十四名、●中島が五十二名、●佐々木が五十名、●三浦が四十七名、●橋本が四十六名、●清水が四十四名、●原田が四十一名、●田が三十九名、●小川及び山下が三十八名、●藤井が三十七名●石井、●岡田及び內田が各三十六名、●中川及び阿部が各三十五名●太田、●坂本及び藤田が各三十四名、●村上、●松田、●岡本及び森田が

各三十三名 ●石川及び堀田が各三十二名、●小野、●河野及び前田が各三十一名、●和田、竹內、中野及び山崎が各三十名、●高木及び靑木が各三十名、●田村、●松尾、●近藤、●後藤、●宮本及び島田が各二十八名、●酒井が二十七名、●石田が二十五名、●岩田、●松井、●淺野及安藤が各廿四名、●大塚、●宮崎及荒木が各二十三名、●大野、●松浦、●藤本が各二十二名、●原、●梶原、●中山、●中尾●永井、●藤原、●古賀、●三宅、及三好が各二十一名、●川崎、●吉村及び佐伯が各二十名ある。これであるから同姓宛の郵便物は日々澤山ある筈である

又誰れでも 京城で已れ獨りと思ふ事が間違つて居ることが分るであらう。人の姓は數多い中に隨分珍妙奇天烈のものがあるが前記の八千五百名の中で平素餘り聞き馴れないところを拾つて見ると螺良、十龜、知東京、智木田、奴留湯、獨古、荷福、野々、大典、太田方、分換、佛坂、鹿兒島、帆士、通形、太駄、成情、太郎丸、黑杭、菜丸、假屋園、釆垣內、海通丸（名は權太郎）斜木、可知、綾目、鐘明、柳樂（名は達兒）笛吹、石破（名は三平）

鄕左右、振角 鯖子田、行天、安間、寺嶝、北（名は傳松）木佐貫、穴吹、其阿彌、臨足、延命（名は大外）軸丸、水菓子、引頭、明神、舌間、白紙、（名は撫天）七五三木、柴菜、杓子、勢一などである。又一字の姓の面白きものは扇、惡、督、鳥、成、嵩、申、副、靖、山、司、安（名は一二三）丸、萬、明（名は太三郎）才（名は次郎）新、亭、綾、駒、（名は奈良右）末（名は延平）箙、左（名は壯了）前、李、拔、白、進などである

稀しい暴れ者

平北博川郡北面元南洞兩班朴昌杰（二三）は同洞徐鍬鍵（二九）が自己の妻白昌淑（二二）と私通したりと疑ひ九月十二日午前十時頃同里の道路にて徐鍬鍵を叩き伏せたる上同人方に突入し重量約五貫目の大石を振り廻して室內を暴れ廻り家具廿三點（五十七圓）を破壞し更に放火して居宅一部を燒却せしめ博川警察署に檢擧さる

便利な荷物取扱所
代金引換の取扱もする

鐵道局にては十月一日より京城釜山仁川平壤の各市內に荷物取扱所を設置し小荷物及び速達便扱貨物の受付を開始するさうだが鐵道小荷物は朝鮮內は勿論內地滿洲の鐵道沿線各地を始め城津淸津等東海岸諸港並靑島芝罘等に到る迄何品に拘はらず一斤にても二斤にても之を受付け又一個百五十斤迄は其重量の如何に拘らず之を取扱ひ荷主の依賴に依りては代金引換の扱も出來其他荷物料は着拂となるべき貨物引換證も發行するから特に商品の運送等に至大の便宜がある荷主は此取扱所へ託送する荷主の便宜を圖る爲に內國通運會社では各地共一個に付僅かに三錢で發送荷物を取集めに應ずる筈で電話で申込めば敏速に集荷人を出すことになつて居る市內取扱所の位置は左記の通りであるが京城では本町の外に尙一箇所開設するさうである

京城本町荷物取扱所　京城本町二丁目九十番地
釜山辨天町荷物取扱所　釜山辨天町二丁目九番地の一
仁川本町荷物取扱所　仁川本町四丁目一番地の五號
平壤大和町荷物取扱所　平壤大和町十一番地

學校注射斷行
官公立生徒一萬人

京城學校組合にては總督府側と交涉の結果愈々官公立各學校生徒同職員一萬人に對し虎列拉豫防の無料注射を行ふこととなり二十九日より十月四日迄を第一回十月六日より十日までを第二回として每日午前八時より一日約二千人の見込を以て注射を行ふこととなりたり醫員は官立學校側の大根氏京城府の羽田氏を始め瀨戶氏其他合せて七名を以て之に當る筈なるが注射に先立ち何れも父兄の承諾を得たる上施術する方にては一人々々診斷の上施術するものなれども尙ほ當日注射揃に行ふ事豫め發熱者又は身體に異狀ありと思ふものは醫員に申出でらるゝを最も安全なりとすと巡回日割左の如し

第一回	第二回	集合場所	參加學校
廿九日	六日	櫻井校	醫學專門校、工業傳習所
三十日	七日	南大門 日出校	高等女學校、幼稚園
二日	八日	京城中學	西大門校、京城學校、女子技藝、女子高普
三日	九日	鍾路校	商業學校
四日	十日	元町校	龍山校、善隣商業

コレラ彙報

▲屠場衛生取締　虎列剌流行の折柄京畿道警務部にては牛肉の需要者俄に激增せる爲め京城屠場の牛肉商及び屠夫を呼出し左の如く注意を與へたり

一、屠夫は健康狀態に留意し常に細心の注意をなし成るべく衣服は淸潔にすること
一、消毒液の設備をして文物類は勿論時々肉に觸るゝ手其他を洗ふこと
一、出入口には消毒液を設備して出入の度毎に履物を拭ふこと

▲五十圓の寄附　京城本町一丁目大和屋[illegible]波德重郞氏は防疫費として金五十圓を寄附したり

◎動植物園開園　李王職動植物園及び博物館にては虎疫今日以上の多くの蔓延を見る際には或は閉鎖するやも知れざれど唯今の處にては平時の通り開館しつゝあり

▲方魚津に眞性四名　過般慶北沿岸一帶に暴風雨襲來のため迎日郡浦項等に避難する漁船多く方魚津は虎疫流行地の事なれば北川日に繫留せる避難船百五十餘[illegible]

巡査職に斃る

警官練習所を卒業と同時に仁川に派遣されたる巡査平野俊造氏（三四）は二十七日夜より萬石町の交通遮斷看守中二十八日午前三時頃俄かに發病し檢鏡の結果疑似患者として收容さる

▲光熙町に發生　京城光熙町二丁目百四番地李公華（三二）は二十八日午前三時頃吐瀉を初め禮智洞の醫生に診察を求めたるに虎疫の疑ひあり即時本町署より係員警察醫出張檢診の結果疑似患者として取扱ひ直ちに順化院に收容し患家の消毒隔離交通遮斷を行ひたり

◎煙突から火　二十七日午後五時二十分頃京城長橋町二十六番地蜂藤久二方浴場の煙突より傍らの蓆に飛火し大事に及ばんとせるを卽時消止む

▲漁船に二名　本月二十日午後十時頃慶尙南道[illegible]の漁船乘組漁夫[illegible]（公州）

上京中の處歸京　辯護士　岡田榮

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△狂歌「靴」

○靴音で所長課長を聽き分ける腰辨連の耳の銳るさ（一等）　龍山　夢の家僕人
▲オルガンに靴拍子揃ふダンシンかばけの如くに腰のふわふわ　京城　雜田　未晚
▲新調の靴と頭は光れども背廣の服に秋風ぞ吹く　忠北　深川　緋題
▲ハイカラの靴の媚しさだけ狩の歸りは豆で步んば引くなり　櫻井町　平野　謙吉
▲三圓の靴も今年で六年目五圓の靴も買へぬ腰辨　京城　早川　幹

■募集規程　△用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事

讀者課題募集規程

天氣　曇り一時晴れ　九月廿九日

演藝案內

黃金館　電話二六三七（階上）一八五二（階下）　天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
[illegible]

御成座　電話一九一一　成町　朝鮮新派劇林聖九一行每日開演
[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
[illegible]

有樂館　本町一丁目　電話二六六　日本活動寫眞株式會社特約
[illegible]

一千反限り
新柄奇拔　縮セル
無代女帶地進呈
過去五年間吳服類の斷然安賣にて評判を取つた東京日本橋區本石町壹丁目吳服問屋[illegible]商店にて今回地質丈夫にて柄合の新進奇拔なる一見縮セル一千反限りの投賣を始めたが本品は十圓の品にも負けぬ東京新流行物なり[illegible]

碑石廣告
碑石製造所

補闕生徒を募集す
私立京城女子技藝學校
私立京城中等・夜學校
京城南大門內（電話一七八九番）

尺八樂譜解說
尺八樂譜
東京小石川區大和町　尺八教授　水野呂童

公告

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス
京城地方法院

● 京城府積善洞六拾六番地
一、垈四拾參坪
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
最低競賣價額金參百〇壹圓也

● 京城府光化門通百九拾八番地
一、垈八拾參坪
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾七坪七合
附屬木造瓦葺平家建壹棟
此建坪四合四勺
最低競賣價額金七百拾七圓也
右　競賣申立人　佐藤保太　不動產所有者　大村通

● 京城府旭町壹丁目百四拾四番地
一、垈五拾參坪
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪四拾五坪九合壹勺五才
附屬木造瓦葺平家建壹棟
此建坪參坪武合五勺五才
最低競賣價額金武千五百六拾五圓也
右　競賣申立人　富來　不動產所有者　金熙

● 京城府旭町武丁目參拾九番地
一、垈百八拾坪
右地上ニ建設
一、木造瓦葺武階建本家壹棟
此建坪七拾七坪武合
外二階坪七拾六坪武合
最低競賣價額金參千八拾圓也
同所
一、木造瓦葺武階建本家壹棟
此建坪四拾壹坪參合四勺
外二階坪四拾九合六勺
最低競賣價額金武千六百四拾圓也

● 京城府茶洞五拾壹番地
一、垈參拾參坪
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾六坪四合六勺
最低競賣價額金武百九拾七圓也
右　競賣申立人　株式會社百三十銀行　不動產所有者　松永小五郎

以上競賣期日ハ大正五年十月十四日午前十時トス

……巳完（二）の妻張姓女（二）が井戸端に合ひ各自負傷したる……て洗濯中を見て居室二階窓口より小暇して取鎮めたり

[illegible]……を以て自死せし……警察署に引致さる

……良太郎、同やす、同て……安達俊助、淺井英資、孫文桓、……丸、原田好五郎、服部しく、中井政雄、松本高次……中山正三、吉岡信太郎、服部裕（七十一名）

……（二名） 河井朝雄、……原つま、小山雅治、砂……

△一口衛生調査 同一日 同二日
△飲め（時計と掛けて） 同三日
△大山征伐『松非』 同四日 同五日

……る事物て一種一句以内の……發表後一週間内以に到務發見迎……には五十錢書籍券を呈す（但何書何號と明記に限る）

秋の盆栽

▽實の物と紅葉類

◇秋の盆栽は實の物と紅葉物とが稱美されます

◇實の物には落霜紅、公孫樹、深山海棠、野母木、木通等があります

◇肥料は牛肉を二片か三片かごめを少し根の周圍を一寸程掘つて埋めて置けば好いのです

◇實になつたら日に能くあてないと育ちが惡う御座います一體實の物は朝日夕日を論せず日を喜ぶものです肥料も與へれば與へるだけ實が大きくなります

◇次に紅葉物は烏臼、樋、大葉楓、蔦楓、小葉楓、次に普通の楓等です

◇紅葉するのは主として葉肉の厚いのが宜しうムいます葉肉の薄い物は何うしても色が惡い樣です

◇何の木でも葉が汚れて居ては好い色が出ませんから汚れた葉は豆腐屋で洗濯に使ふ豆腐の湯を冷して其で洗つてやり後で如露で清水をかけておやんなさい

高麗の古墳

△南滿金州にて發掘

京都文科大學東洋史研究室より特派されたる小川博士の一行は本月中旬より南滿洲金州城北門外の古墳を發掘して高麗時代の完全なる髑髏及び高麗燒其他人類學及び考古學上有益なる參考品を採集せり一行は更らに海城方面に於ける古墳の調査を行ふ由なるが金州より普蘭店方面一帶に亙る滿洲の古墳には高麗時代の遺されたる珍品尠なからずといふ因みに金州には關東州より南滿洲一帶に渉する研究者として歴史的考證を遂げ斯界の一權威たる南金書院公學堂長岩間德也氏あり支那人教育の傍ら十年一日の如く之が研究に怠らず小川博士一行も岩間氏に依りて得る處多かりしと也

◉小學校の豫防注射

府内各小學校にては這回兒童のコレラ豫防注射を開始し櫻井小學校は廿九日より日出、南大門、高等女學校は卅日より何れも父兄承諾の兒童に限り無料にて施行する由

◉新義州の大運動會

新義州小學校にては十月八日秋季大運動會を開催同校生徒の運動以外官民の運動各團體の贊成により大競爭其他の運動を試み尚ほ市内の自轉車選手によりて長距離競走なし試みらるゝ等頗る興味ある計畫を立て居る由なれば近年稀なる盛況を呈することなるべしと

◉フレンチ大佐著任

救世軍朝鮮總司令官フレンチ大佐は這回前任者ホッカード大佐の後を享けて二十八日横濱著十月二日京城著の豫定なり、大佐は米國の出身にして猶ほ著任の披露會は十月十日夜鍾路の基督教青年會にて開催せらるべし

◉笹尾博士退京

基督教聯合布教大會に出席の爲め入京滯在中なりし笹尾博士は二十八日午前中の列車にて内地へ向け出發せり

◉吉木藥劑官快癒 總督府醫院藥劑官吉木彌三氏は一週間以前醫院入院中のところ二十八日全快退院せり

◉石原校長歸省 府内南大門小學校長石原諭郎氏は嚴父病氣危篤の報に接し去る二十三日郷里熊本縣玉名郡江田村に歸省せり

◉田島訓導嚴父逝去 櫻井小學校訓導田島氏は嚴父危篤の爲め歸省中のところ二十七日夜逝去の旨通知ありたり

◆コレラの豫防心得

△コンマバチルス、症狀、豫防心得、菌の抵抗力▽

◇京城の各學校では昨今惡い病氣が流行りますので左の豫防心得書を生徒に配付しました

◇コレラの病原は『コンマバチルス』と云ふ黴菌でそれが患者の大便や吐物の中に混つて居て傳染のであります

◇患者の大便や吐物を河又は海に流し、或は患者の汚物に穢れたる衣類などを洗濯し、其穢れたる水を下水に流す時は、黴菌は自然に井の中などに入り、此の水を飲みまたは野菜や食器などを洗ふた時は知らず識らず食物と共に病毒が腹中に入るのであります

◇また病毒が飲食物の中に混じつて居ると患者の汚物に集りたる蠅が媒介となりて飲食物に病毒を移します胃腸が弱いとかゝり易く不消化物を食べ暴飲暴食すれば胃腸が弱り下痢を起す猶ほ腹部を冷すと下痢を起し此の病に罹り易き故に最も注意を要することであります

◇コレラに傳染すると腹が痛まないで下痢や嘔吐を催します、そして度々下痢すると大便は米泔汁のやうになり目が凹み、鼻が尖り、聲は嗄れ身體は冷えて皮膚が縮み上ると皺が出來た皺容易に復らず、口が渇き小便は少くなり、腓腸筋が痙攣して脉は弱くなり遂に衰弱して死するのであります

◇其の豫防の心得は第一生水、生物、未熟の果物、古き果物、西瓜、甜瓜の類、生の魚類例へば刺身の類は一切飲食してなりません。また不消化の食物例へば烏賊、鯣、章魚、海老、貝類、昆布類は胃腸を損し下痢を起し易いからたべてはなりませぬ。次に自分の家で料理をしたものでなければ食べてはなりませぬ。食器料理道具洗しは湯でよく洗ひ漬物は一度煮沸したる水にて能く洗ふことが大切です

◇また蠅は傳染の媒介となる故之を絶さねばなりません而して飲食物は『蠅入らず』に入れて蠅を防ぐこと、また腹卷をして腹部を冷さぬこと患者のある家は勿論其の附近から飲食物を買ふてはならぬこと食事前には必ず手を洗ふこと家の中は隅々迄も清潔にして衣服寢具などは度々日光に曝し襯衣の類は屢々洗濯することと身體や氣分が常に變りて下痢があるときなどは早く醫師の治療を受け賣藥などで一時凌ぎをするは却ていけませぬ

◇患者のためコレラ菌の抵抗力を舉げますれば、寒冷には能く堪へ零下十六度で五十七日生存する溫熱では六十度に一時間八十度にては五分間で死にます日光及び乾燥に遭へば一時間にして死滅す猶ほ滅菌中には五分乃至十分にて死す

◇酢は二七%にて五分間一%にて三十分間の後死にます醋酸液に於けるコレラ菌は五分乃至二時間にて死滅します二百萬乃至三百萬倍の昇汞にて五分乃至十分にて死にます一%石炭酸にては五分間にて死にます

番茶のあと

這回入京した人類學の鳥居龍藏先生に就いて一場の御愛嬌ばなしを御紹介する△先生は曾て知己の才子佳人の爲めに南山の京城神社で月下氷人の大役を勸めたことがある△其の時先生はフロツコートのズボンを折つて窮屈さうに端座して居られたが△やうやう三々九度の盃が濟むでいざ先生が榊をとらうといふ順番になると何うしたはづみか突然コロリと横に倒れた△列座の人々吃驚して急ぎ先生を抱き起さうとすると『實は兩脚がしびれまして……』との御挨拶△その時の先生の態度には列座の神官は勿論のこと花婿花嫁さんまでも思はずフツと噴き出した相な

△花海老 東海老の頭をさり去りて水洗ひなし置き鍋に味淋を煮立て海老を入れおとしぶたをなし中火にして煮の通るまでたき醤油をたして又しばらく煮て火よりおろして冷まし取り出して皮をむき尾だけをのこし其まゝに置き背の方より切り目を入れて兩端は切りはなさず尾の中のとがりしヒレを頭の後に刺し込み前の煮汁につけて皿に盛る（青木はつ子）

神社とお寺と教會

○西本願寺（若草町） 一日午前九時より日曜學校秋季大會を催すべし

△會のいろいろ▽

□神奈川縣人會 神奈川縣下相州出身にして京城在住の有志は來る三十日京城ホテルに於て懇親會を開催する由にて當日は曾禰宗高田顧問官兵司令部伊藤軍醫正も出席する由

□小學校長會議 二十八日午後二時より商業會議所樓上にて開催せり

□小學校裁縫研究會 京城各小學校の裁縫研究會は九月三十日府内日出小學校にて開催

□基督教婦人會 二十九日長谷川町日本基督教會にて開催

商況

東京株式特電

前場寄付 日 大 引

銘柄	
日本郵船	—
大日本麥酒	—
京城電氣	—
横濱新蠶	—
同 新	—
日本電燈	—
東株第一	—
東株第二	—
東新第一	—
東新第二	—
諸株寄騰す	

債券現物特電

日出來値段（前日との比較）

東京	—
東洋拓殖	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	—
朝鮮殖産	—
南滿鐵道	—

公債直取引特電

東京 日出來値段（前日との比較） 九八、一〇

二十八日出値段（前日との比較）	九八、一〇
五分利特發	八二、九〇
五分利	八一、九〇
同 四分	九七、九〇
甲 五分	—

深川在米特電

二十八日現在高

朝鮮米	二、三〇八
内地米	九、三七六
臺灣米	一、四二二

東京期米特電

二十七日前場	十一月限	後場
寄付	三三、六〇	—
高値	三三、八〇	—
安値	三三、五八	—
止め	三三、七九	—

大阪株式特電

二十八日前場	拂込額	前場	十日
字治川水	五〇	—	六〇
京阪電鐵	六〇	—	—
神戸電鐵	五〇	—	—
阪神電鐵	三〇	—	五一、一〇
大阪電燈	五〇	—	—
東洋紡績	五〇	—	一三二、〇〇
合同紡績	五〇	—	一三三、〇〇
攝津紡績	五〇	—	—
大阪商船	五〇	—	—
大阪鐵工	五〇	—	—
日本生命	五〇	—	—
大阪新株	五〇	—	—
東京株式	五〇	—	—

大阪三品特電

二十八日前場		
九月限	一五三、六〇	一五三、七〇
十月限	一五三、一〇	一五三、三〇
十一月限	一五三、〇〇	一五三、二〇
十二月限	一五三、二〇	一五三、一〇
一月限	一五三、〇〇	一五三、一〇

大阪期米特電

二十八日前場		
先限寄付	一三、五九	
中限寄付	一三、九二	
當限寄付	四、一五	め止

下關期米特電

二十八日前場 晴 利喰ひ氣緩る

	當限	中限	先限
寄付	三三、〇	三三、三	三三、三
高値	三三、〇	三三、三	三三、三
安値	三三、六	三三、三	三三、五
止め	三三、三	三三、三	三三、五

雜報

●砂糖は先安見込

月末受渡の接近と共に不振を極めし内地市場は閑散時期に向へると相待つて更に一段の不振を加へ居れり精糖は國内需要の減退は別として支那市場に於ても更に振るはず契約品の引渡位に止まり新商談皆無の姿なれば協定價格も維持する能はず會社側も實上げ不能を聲明せし爲め氣配は引緩みて六十四五錢唱へなるも買屋は氣乘薄にて引取手なくさりとて手持筋も無辯の安値には手放さざれば見送りつゝある有樣なりといふ此處許市場は前報の如く需要不振と會社側の販賣競爭によりて氣配は徐々軟弱の傾きなり且つ明治製糖は既に移入を見今後新製糖の移入し來る時は到底一崩落は免かれざるべしとて早くも之が警戒を爲す當業者もあり來る年末には意外の波瀾あるやも測り難し

●染料更に引戻す

染料は共後稍動揺なりと雖此處暫く時期を迎へ氣配は頗る強しベンゾー（の如き）……百三十圓迄引……

月末の綿糸布

戻せるが今後の賣様如何により以上の相場を現出せざるべしとも限らずと唱へ居れる強氣筋もあるが兎に角眼先は當分強硬の成行きを持續するならん

◉月末の綿糸布（絲布） は相變らず強氣ながらも月末に際し何となく頭重き商勢を呈し居れり之は例月の例として受渡しの關係に因れるものなるべく當限落後の今前場は前項の如く三圓強を保合ひに終りたるもの、如し一方綿布は昨報の如く聞き度綿出の新規約定行はれ能シーの如き五圓四十五錢位なれば何程にても買望み居れりとか何れ月變りに入らば原棉及び綿出模樣によりて意外の波瀾を見るに至るべし

◉早稻新米漸增

新米は各地共に既に漸々出廻り初めたるが例年に比し多少作遲れの觀あるに過般來の降雨によりて出廻り遲れ居れるも天候も共後恢復せし事なれば此際新穀出廻りも追々增加すべし

◉干瓢漸く落付

期の終末を告げたる本品は此處大なる變動なけれども内地市場にありては歩々閣ひ物の買付に手を染る手合ありて目先常に向の氣配あるも本年の産地製産潤澤の事とて商値は堅調を續き商係なり

◉生果類無手合

類は疎て閑散より荷主に對し荷止を發し居れると荷主も斯かる際強いて送荷を爲す事能はざれば此數日來の入荷は僅かに十個内外に止まりさすら辛ふじて林檎梨共に五六十錢より上物にて七八十錢の出來なりしが今朝は三十個内外の著品を持餘し午前中は一個の買人もなかりし有樣也

下關相場

△朝鮮白米は不買れ 依然内地米に比し割高を看に兎角買進みをもして變らずの不掛けに依り市況面白からず然れども兎角出廻り多からぬとて

△小豆は矢張保合 本品は依然不引合なる爲め僅かに別段賣り急ぎ物の現はれざるも其後の輸入は百五十叺のみ安の折柄とて兎角買氣の進まざる傾め相變らず賣れ行き鈍調にして市況引立つべくもあらず然れども何分產地の人氣安からずして不引合なる爲に各手持筋の賣り急がざるに依り締調

△大豆は狂せず 朝鮮新穀物の頻出しを見るに至りたると大體に於て先安見越しの折柄とて自然臨氣進まずと雖も何分賣り物薄の折柄とて別段安き賣り物の現はれざる爲め市況は先ず其後の輸入は木山產五十俵目出產百五十俵二百俵等なり

△朝鮮一等白米（當用） 十五圓十錢
△同 十五圓二十錢
△同二等白米（當用） 十四圓八十錢

各地商況

△正米（強保合） 前報後引縮き變らざる成行にて古米入荷依然寡之新米入荷は別報通り尠々有之も之亦現下の市場に影響なきは勿論にして古米は漸く品海を告げ韓白の賣行は極めて歩々しからずと言へ共久敷仕入手控へにて追々に手透となり木下商店の如きは榮山浦方面に買進めたるが頗し斯くの如くにして漸く買手あれば共賣控へとなり相場は勢ひ賣手に引き寄せられて底強き成行となれり然れば今や一度買商談現はれんか相場は又々上騰すべきは勿論なれ共本日は向賀手當用精米筋が實行歩々しからざる故を楯に高値に買進ぜず睨合の姿にて取引無之爲めに辛じて相場を保合居れるも爰日先市場は最も注目を要せん

△新玄米初入荷 靈岩產新玄米四俵演廻著あり内谷商店にて十二圓七十錢と取引ありたり之れ當市場新米初入荷なり

京城正米

白米二十錢安 玄米十錢新

當時持合の姿なりし正米氣配も早稻新米の漸々出廻り初めしと本日は鮮銀の新狀なり買人は何れも安合みの白米不賣十錢安の唱へに稍々安合みの騰落の振合ひなり

南大門の廻穀

仁川玄米	三〇三叺	平澤白米	七八叺
平澤玄米	二一叺	黃州胡麻	二叺
仁川玄米	三〇〇叺	黃州粟麥	五叺
俊福玄米	二〇三叺	島致院麥	四叺
仁川白米	一九〇叺	水原白米	二八叺
仁川玄米	二〇〇叺	沙里院大豆	二七叺
富川白米	五二叺	平壤蕎栗	二七叺

仁川現物市場

鑑川小麥	二一叺	中和粳麥	三〇叺
水原白米	九〇叺	平壤蕎栗	二七叺
平澤綠豆	二七叺		

△殼入津なし
△正米入津なし 氣配は別段變らず依然強保合を唱へ居れり
△小麥入津なし 氣配保合

釜山市場 廿七日

△正米（保合） 本邦定期市場は各地とも昨日後場より稍氣直りの趨勢を示し小締りを呈せしも當市場は相變らず賣り物相應にあり持米筋も多少期米高を氣構へ賣り溢りの傾きなれども何樣買人は精米筋を除くの外他に買人なき折柄なれば出來相場は何れ影響もこれなく變らず保合の狀態なり

△大豆 本邦不味の商狀に連れ餘り買ひ進ひの事もなく氣配は變らず保合の商狀なり

生魚市場

中 白	四百三十八個
玄 米	一五九一個
新大豆	三〇六個
備中白米	二十九個
小 麥	四十個
合計二千四百三個	

仁川元物の釜山統計より昨報週其他山より生鮮の廻着あり入荷は品薄にも拘はらず不賣の爲め沈靜なりしも相値は鯛目に付二十二錢鯖十二錢鰯九錢見當なり

仁川期米

△二十八日前場 大阪天候晴天

前寄十四圓十五錢 昨止より六錢高の入

一節同事の移り

大阪七節一二十一錢八節一二十四錢

高に寄付七錢と辷りて保合居りたるが高移りに買物現はれ五十錢丁度と上伸したるも戻りは依然多く四十九錢と保合の裡に散會

△二十八日前場 當限出來不申
△中限出來不申
△先限㊀十二圓四十八錢七錢㊁四十七錢八錢㊂四十七錢㊃四十七錢八錢 五十錢四十九錢

市場寄開

依然保合ふ（天候晴天）

なる商品取引所の報ずる如く夜來溫暖にて昨日の大阪正米前場は……引き付……上に寄り……保合の折柄大阪の跡高を見て……

己に割高に位置し

居る關係上頭重

伸び惱み の感があつた是非前日の大阪暴落に附隨せざりし反動ならんか

前場の手振

重なる商内は方の④螢各手除石賣に對し買方③④等にて他は小口商内であつた

市場閑散

迫々月末切迫したる關係なるか小口手仕舞商内多く新規の賣とも見るべきは④賣に對する鶴賣

商内は強弱の代表的

に③は軟派の主力店なると③は硬派の主力店にて他の手仕舞商内多き商内張は兩店に際し兩店の商内には非ざるも見るべく共數敵て大數の人氣は前報せし如く目先の保合相場に權意し新值候ちと言ふべく一般人氣は沈退なるかを思はしめたり

月末戰如何

大阪の成行は其後益堅調にて今前場更に十四圓二十四錢と高値を報し前日の安値は果して底入れと見做すを得るか否や兎に角據入不足說の如き全然無視し得可からざる材料の横はり居るとせば此際一段の高値なしとも限らず當地は前日大阪の大暴落に附随せざりし反動なるが今回の立直りに際しても存外落付模樣を呈し居るは買方の依然見送り居ると月末關係に外ならざるも一面には軟派の未だ割高思ひに戻りは賣物の多きに依るならん斯る次第にて今月末の戰爭も存外平穩に……

石油株

[illegible]（二十八日）

……爲めに割合に買氣も鈍く……株も本年の上半期間に於ける内外油總額は百五十萬函にして前年同期に比するならば九十萬函の減少して居るのであり而して上半期の例にて推せば下半期の輸入も百萬函見當であるから戰前に於ける外油の輸入一箇年五百萬函見當に比し六割方の減少となつて居るのである又た一方輸出の方は本年四月より七月まで四箇月間の累計は三十萬石にして前年同期に比し六千石の增加であるが輸出の割合に進展し居らぬのは本邦の產額よりすれば已むを得ぬ次第である左れば戰前までは内外油は五分の勢ひにて供給に從ふて居つたのであるが本年に入りて一變して内油は六割以上の勢力を占め外油は四割弱の供給に過ぎぬ事となつて居る丈けに内地の石油會社は營業の成績は良好となつて居るのであるから戰爭の繼續する限り石油會社は此の良好の成績を維續し得らるゝとは採算上より割の高からざる石油株の安値は買物……

北濱だより

[illegible]

仁川米豆取引所

廿八日の十一月限

	前場		後場
寄付	十二圓四十八錢	一節	十二圓四十八錢
止め	十二圓四十九錢	二節	十二圓四十七錢
高値	十二圓五十錢	三節	十二圓四十七錢
安値	十二圓四十七錢	四節	十二圓四十八錢
出來高	五千三百石	五節	十二圓四十九錢

△採算期に入る

本年米作に十空前の大取組

納會するに非ざるかとの觀察多く納會三十日前場にて本月も最早納會する事にて餘す處僅々四立會あるのみなるも今後大阪の成行に依ては意外の變動なしとも保難く何分にも取組の大なる丈け油斷すべからざる時である

本年米作に對する天災期も已に過渡期に入らんとするの時に際し當市場にては十一月限に於て實に十四萬餘石と云ふ空前の大取組を擁し近々中限に廻らんとするあるを迎へんとするの時に際したる新田の發會は向餘日あるより未だ内容に立ち居らず何れは十一月に對する總方の作戰上意外の變動あるなら何なる變動を惹起するや果して如何なる不靜を裝ひ居るも將來の大勢は知れぬ事と思はれ何れは時日の推移するに從ひ新甫十二月限の發會と相俟つて驚天動地の大變動を演出するならんと期待せられ居れり

最上醬油

特許 機械製 ほまれ味噌

絕對的品質本位

鮮滿醸造界唯一の名譽 於始政五年朝鮮物產共進會 金牌受領

釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 電話七五一番振替京城一七四番

京城出張所 電話二四五番振替京城五二三番

秀麗なる富士山が日本一なる如く富士山印、東京れこをどは左の點に於て實に日本一である

一番 面白い點
一番 嶄新な點
一番 金の掛つた點

毎月廿五日正確に十枚宛の新音譜を發賣して居る點も日本一です。美麗なる目錄無代進呈

東京市日本橋區新右衛門町（振替東京一九四九番） 東京蓄音器株式會社

朝鮮全部市に於て代理店御希望の方は即時申込まれよ、條件……

最高滋養

フェロール

「フエラトーゼ」代用に創製せる新輸入最高滋養劑にして効果本品に及ぶもの無し

各病院推奬の御用品にして其美味は如何な藥嫌ひ婦人小供方にも飲み安し

▲醫效適應症▼ 貧血、萎黃病、精力減退、老衰、產後、胃腸病、病後、肺病、消化不良、凡て營養分必要の諸症

●各藥店ニアリ藥店ナキ地方ハ本舗へ注文あれ小包便送附す

定價 十日分……、二十日分……、試用……

本舗 大阪道修町 發賣元 小西久兵衛 振替口座大阪一九一番

わるいやまひ 惡疫はやる流行 今のむ仁丹 値うち千兩

金言 朋友の良否は利害の分かる所なり（グレー）

淋疾内用

ブレノリン

本劑ハ「ヘキサメチーレンテトラアミン」ト硼酸トヲ結合セシメタル新化合體ニシテ「バルサム劑」ト異リ之ヲ連用スルモ毫モ胃腸ヲ害セズ容易ニ吸收セラレテ尿中ニ分泌シ尿量ヲ增加シ且殺菌作用偉大ナリ。

急性、慢性、淋疾及消渴、膀胱尿道加答兒ニ賞用ス宇野博士緒方博士櫻根博士ハ本劑ノ治驗報告ヲ發表セラレタリ。本劑ハ粉末及錠劑アリ。

各地有名藥舖ニアリ 説明書進呈ス

東京室町 三共株式會社

豫報

△京城測候所 二十九日正午……

京城	前日最高溫度 二十九度八分
同	前日最低溫度 ……度○分

日出入 ……

(夕刊) 大正五年九月二十九日 (金曜日) 京城日報 (明治三十八年九月十日第三種郵便物認可) 第三千二百五十二號

宮本武藏

第百七十二回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

水野日向守、黑田家の懸合を聞いて大口開いて笑つた 勝、長東傳八郎とか申す者は數年前藝州廣島の藩中で同藩の岡崎某を遺恨に因て暗殺して國許を立退き、江戸表へ來つて浪人組の仲間入をして居た奴、左樣な素性正しからん者を黑田殿ともいはれる大名が何故お抱へなさる、凡そ士を招き亦は仕を求むる時は一應其故主へ問合せ、浪人した次第を尋ね、其者の善惡を明らめた上扶持を遣はさなければならんもの、定めし黑田家でも長東を召抱へる時に淺野家へお問合せがあつたであらう、淺野家で彼れには斯々の罪があつて脱藩したと答へたに相違ない、して見れば傳八の罪は明白、その罪を知つてお抱になるといふのは言語同斷である、拙者の方の白柄組は曲つた事は大嫌ひ、弱きを救け強きを挫き、只義俠を旨として居る、細川家の宮本武藏此人も又俠勇の人物、孝子姉弟を救けて大勢の浪人組を對手に敵討をさせやうといふ、其心底感ずるに餘りある、依つて拙者白柄組に申付けて之を救け、物の見事に敵討をさせたので何も黑田家から愚圖々々申込まれる事はない、本來旗本たるべきものが大名から懸合はれる事はない斯樣な事になるといふのも畢竟御當家の手脱りから初まつた事だ、拙者の方には立派な理屈があつてした事だから立歸つて重役にさういはつしやい、水野日向守八十二歲になるがまだ耄碌はいたさん大きに御苦勞」使者は愁ろいて立歸る、一方細川家へ懸合ふと澤村才八郎面會して飯もホロ、の挨拶で之亦使者が愁ろいて立歸り此段重役に話をしたから重役一同大に憤り、人も無げなる申條、奇怪至極無禮千萬ドゥして呉れやうと一同相談に及んだ、所へ參の平內より町奉行神尾豐前守へ屆けましたから豐前守直ぐに三浦屋方へ役人を遣はして左門淺野の姉弟を役宅へ呼寄せ、自身取調べると前後の仔細明白に相成つた、左門淺野の太守より免狀を頂戴して持つて居りますのが何より證據茲で淺野家へ問合はせると共れに相違ないとの返事で、憐うなつて見ると立派な敵討でございますから別段咎めはない、けれども府內を騷がしたる罪は免れません、叱しろ場所が吉原といふだけに豐前守も大きに困つた、孝子を罪に陷したくなし、といつて其儘免す譯にも往かず什麼したものであらうと考へましたが宜い思案も付かぬ、茲で庄司甚右衛門を召して、今迄吉原に於て仇討をした者があらうかといつて聞くと甚右衛門が『吉原開基の初め、大門口で仇討をした者がございます、福島の家來で山中伊織といふ者、之は其場に於て切腹をいたしました依つて其儘に相濟みました、其外に仇討といつてはございません、しかし吉原は別世界、元和三年吉原總名主を承はりまして以來、吉原五丁町の支配は私の司どります所、何事に限らず廓內に起りました事は私の一存にて取計らつて參りました、此度の儀は御町奉行の御計らひにて如何なる御裁決に相成りますや存じませんが、若し罪に落とす者がございましたならば斯申す甚右衛門を罪人になされ度く、仍ち御府內を騷がしたる罪人は此庄司甚右衛門といふ事に願ひたう存じまする』と言切つた、此甚右衛門といふ人は前申上げた通り俠骨のある人で名士とも交はつて居ります神尾豐前守も致方がないから「イヤ其方に罪を問ふのではない、只前例を尋ねたまでゞや、宜し今日は戻れ」と其儘歸したが此事を老中阿部豐後守へ申上げると豐後守『吉原廓內の儀は元和三年の諚に任せ一切庄司甚右衛門の計らひに任せて差支あるまい、之れは只浪人同志の決鬪と見なし、奉行より事立てぬ方が宜しからう』といつては、依つて豐前守も安心して參の平內に萬事任せて公儀の方は無事に濟みました、さて黑田家にて老臣評定の末改めて懸合といふ時に參の平內黑田家へ來つて重役に面晤し、理非を說いて說得致しました。

石鹼化粧品 婦人小間物卸商 月本政次郎商店 京城明治町二丁目 電話二二八番

平壤名產 玄武栗 値下 ◎生栗御小賣 ◎旭町一 玄武堂 振替電話一五七二へ

九月三十日九星 舊九月四日 癸午 本命九紫 南納 赤口

▲九紫 自信にして凹まさる、事有る日 新事目論見は吉 晴雨衛▲一白 氣にあわね事多き日 新事手控へ衛 慶事は妨なし▲二黑 有効の日 商人學命件 名弘家作求職用漁業種試驗を受る等 吉▲三碧 大傑り日輸居入學命件名弘求職 商業入門求職 行商名弘移轉入組の和を計る 吉▲四綠 安泰の日 婚姻取極め造營等萬 吉▲五黃 勢力を增す日輸居旅行入學名弘命件 求職外上昇進祝賀 吉▲六白 粗漏千萬の日新事手控へ衛 吉 衛生注意▲七赤 物の成る意味する日新事手控衛事は吉 買物に用心せよ▲八白 贊を得る日輸居旅行 入學名弘求職建築婚姻大なる企劃等萬吉

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て敏速に廉價に迅速と可確親切を旨とし御需需に應候 京城日報社 寫眞製版部

京城府告示第十八號

大正四年度京城府歲入歲出決算左ノ如シ

大正五年九月二十八日 京城府尹 金谷充

大正四年度朝鮮總督府京城府歲入歲出決算

歲入

一金二十九万六千五百二十三圓一錢 經常部決算高

一金一萬四千四百十六圓七十七錢五厘 臨時部決算高

歲入合計 金三十一萬九百三十九圓七十九錢

歲出

一金二十五萬四千七十四圓八十六錢 經常部決算高

一金五万六十三圓 臨時部決算高

歲出合計 金三十一萬四千百三十八圓

差引殘金六千八百一圓三 翌年度へ繰越

大正四年度京城府歲入出決算

歲入經常部

第一款 府稅 金二十二萬九百九十四圓四十錢五厘

第一項 市街地稅附加稅 金四萬四千六百七十八圓四十九錢

第二項 家屋稅附加稅 金二万六千三百九十圓一錢五厘

第三項 特別戶別稅 金八百六十圓

第四項 營業稅 金七十七百四十錢

第五項 電柱稅 金三千圓

第六項 雜種稅 金四萬七千四十錢

第二款 使用料及手數料 金千二百十八圓

第一項 公園使用料 金八十圓

第二項 傳染病院使用料 金二千八百十五錢

第三項 墓地使用料 金一萬三百四十圓

第四項 火葬場使用料 金四千五百圓

第五項 屠獸場使用料 金四千七百六十九錢

第六項 督促手數料 金二千五百十四錢

第七項 證明手數料 金三百六十錢

第三款 交附金

第一項 國稅交附金 金五千三百十三圓

第二項 地方費交附金 金四千九百八十六錢

第三項 國有地小作料交附金 金三百圓

第四款 財產ヨリ生スル收入 金一百二十二圓

第一項 基本財產收入 金一百二十五錢

第五款 雜收入 金四圓九十八錢

第一項 物品賣却代 金一万七千七百

第二項 辨償金 金四十八圓八百六十錢

第三項 雜償金 金五十三圓

第四項 運用金利子 金三百九十錢

第五項 雜入 金八百十九圓十一錢

臨時部

第一款 繰越金 金二十九萬六千五百

第二款 寄附金 金七百二十六圓十錢

第三款 雜收入 金一萬三千五錢

臨時部合計 金一万四千四百十六圓七十七錢五厘

歲入合計 金三十一萬九百三十九圓

歲出經常部

第一款 役所費 金五萬三千六百二十錢

第一項 協議會費 金六十九錢

第二項 俸給 金二百七十二圓

第三項 旅費 金九千九百十九錢

第四項 雜給 金二万九千九百

第五項 需用費 金一千一百四十三錢

第六項 雜給 金三千五百十四錢

第七項 需用費 金七千七百六圓

第八項 修繕費 金九百八十圓

第九項 公告諸費 金六百三十五圓

第十項 雜費 金四十圓七十錢

第十一項 修繕費 金四十錢

第二款 土木費

第一項 道路橋梁費 金一萬五千八百十三

第二項 溝渠費 金一万二千三百九

第三項 測量費 金四百十六圓

第三款 傳染病豫防費 金二十二圓

第一項 雜給 金一百二十六圓

第二項 需用費 金一千九百

第三項 種痘費 金三百三十七圓

第四款 傳染病院費 金七百五十三圓

第一項 給料 金一万九千七

第二項 雜給 金九十錢

第三項 需用費 金二千九百

第四項 修繕費 金二十二圓

第五款 汚物掃除費 金四千

第一項 物件費 金九十一錢

第二項 雜給 金八万九千八百

第三項 需用費 金七千四十錢

第四項 修繕費 金八十圓

第五項 馬匹費 金三千八百

第六項 需用費 金四千百二

第七項 道路撒水費 金八百二十二錢

第六款 屠獸場費 金一千五百四

第一項 雜給 金四千三百七十圓

第二項 需用費 金二十二百七十七

第三項 修繕費 金四百五十三圓

第七款 墓地火葬場費

第一項 雜給 金四千二百七十八圓

第二項 需用費 金二千十三圓

第三項 修繕費 金一百二十三圓

第四項 雜費 金五百六十一圓

第八款 公園費

第一項 雜給 金六千三百三十

第二項 需用費 金一千六百三十

第九款 救助費

第一項 窮民救助費 金二百七十五

第二項 行旅死亡人諸費 金一萬

第十款 警備費 金七圓

第一項 雜給 金一万七百五十三

第二項 需用費 金一千四百六十七

第三項 修繕費 金一百七十圓

第十一款 基本財產造成費

第一項 基本財產造成費 金一百十六圓三錢

第十二款 基本財產造成費 金十二

第一項 協生基本財產造成費 金四十七錢

第二項 京城神社基本財產造成費 金四十一圓

第三項 金五管理費 金四十一圓七十錢

第十三款 管理費

第一項 接待費 金七百四十圓

第十四款 雜支出 金二千六百十四

第一項 滯納處分費 金二百三十

第二項 過年度支出 金二百五十

第三項 神社費 金三百三十五圓

第四項 利子 金八百

第五項 雜入 金八百一圓八十

歲出臨時部

第一款 補助費 金二十五万四千七十四圓

第二款 式典費 金四百九十三圓七

第三款 土木費 金五百圓

第一項 道路橋梁費 金一万八千九百

第二項 溝渠費 金一萬八千一百

第四款 傳染病院費 金八百六圓

第五款 汚物掃除費 金三百八

第六款 物產共進會費 金四千八百三

第七款 始政五年紀念費 金五百三十五

第八款 警備費 金六百八十六圓

第九款 元利償還 金一万七千三百二

第十款 府債費 金一万三百六

第一項 元金償還 金六千九百六十

第二項 利子 金九十六圓七十

臨時部合計 金五萬六千六十三圓六十二

歲出合計 金三十一萬四千一百三十八

◎書籍案內◎

書名	著者	定價
時務一家言	富	
政治家の一柱	同	
蘇峯文選	同	
大正政局史論	同	
獨逸經濟的勢力	伊藤文吉	
獨探日記	馬場	
孫子諺義	行	
聖日要錄	同	
日本書紀	同	
白隱和尚遺墨集	丹	
大將乃木	國民新聞	
乃木大將	社	
朝鮮鑛業要覽	橫山健堂	
酒餅論	山路愛山	
月江和尚	朝鮮鑛業研究會	
字考正誤	成	
元田先生進講錄	民友社	
名婦鑑	同	
不如歸	蘆花	
歷史の片影	同	
外交奇譚	同	
自然と人生	同	
青蘆集	同	
青山白雲	同	
縮刷思出の記	同	
小說思出の記	同	
探偵異聞	同	

東京一の香氣が良くて垢がよく落ち肌を美しくするお誂へ向の石鹼は 日本一の エグゾン石鹼 東京・丸の内 藤原商店化粧品部 京城黃金町二丁目 支店

菓子王たるわけ ■滋養强壯料ばかりで特製へる ■一歲の赤ん坊から百歲迄の老人に適す ■日本全國の御家庭殘すにお勸め出來る 朝鮮人參應用の 食るだけ肥る おいしいお菓子 ホーカースキートを召上れ 家庭常食 お贈答品 お配物に適す 御參考 ●子供の發育よく ●顏色をよくし ●仕事の精力つき ●人消旅行に出る時 ●煙草代りとなり ●時候變りに堪へ ●鍋底疾設に學を勵へ ●胃腸の調和を保つ ●息切を癒す ▲全國到る處の菓子店、藥店、雜貨店等にあり 品切れの時は直接本舖宛に御注文を乞ふ 紳士のポケツトにホーカースキートの用意ありや? ホーカースキートは實に處世上無形の武器である。 ホーカースキートの原料 ホーカースキート 牛乳 鷄卵 朝鮮人參 ホーカー 本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店

國民叢書

書名	定價
社會と人物	
生活と處世	
處世小訓	
人物偶評	
教育小言	
近時政局史論	
讀書餘錄	
第二天然と人	
第三天然と人	
日曜講壇	
第二日曜講壇	
進步乎退步乎	
人物管見	
青年と教育	
靜思餘錄	
文學斷片	
天然と人	
第二靜思餘錄	
風雲漫錄	
家庭小訓	
經世小策	
經世小策	
單刀直入	
寸鐵集	
學漫筆	
文興雜記	
漫言	
世間と人	

京城日報代理部 京城太平通壹丁目 電話長六六〇番 振替貯金口座京城三二〇

男の生殖器病 生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱など人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用すれば斷時効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名の博士も其實効を證明し賀讃が知しハガキで申込あれ圖入說明書無代密送す直接來所者には醫院部にて懇切に說明す ▲高評益高き奥み大に御注意あれ 東京神田小川町五 電話神田七二二番 東京 眞空療法研究所

吉田學明 人事百般鑑定需應す 鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓 鑑定時間 自午前九時 至午後十時 大日本陰陽學會朝鮮支部 京城本町三丁目

メリヤス・ト・毛布ハ 京城 丸一綿部 電話一九〇一番

御待ちかねの新栗調製 平壤名產 栗ピンス。平壤 電話五四四番 外に予持栗玄武飴を忘れずに 秋鹿商店

京城日報
第三版
廿九日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　廣告料
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯用三四五番　營業用二六番　振替貯金口座京城三〇〇番

京城日報

防疫と衛生組合

京城に於ける虎疫は、一度其の病毒の侵入を見てより、今日迄六名の患者を出し、其の傳播の他に比して速かならざるは不幸中の幸なり。されば之を以て、最早其の終熄に、近きつゝありとか、或は將に終熄期に至れりなど、言をなす者あるを聞くに至つては、吾人大に寒心に堪へざる也。虎疫の終熄か否か、吾人もとより之を知るに由なし、否何人と雖も確實に豫知するは歐洲戰局を豫言するよりも、更に大なる難事なりとす。唯其の發生患者數の少なく、傳播の遲々たるを以て最早終熄なりと豫知するのみならんも、過は大なる早計にして、却て病毒の傳播を誘致する、最も恐るべき油斷なり、即ち一般の警戒心は、斯る場合多く弛緩を生じ易きが人情なれば也、此油斷が如何なる不幸と慘害とを誘致するかは、何人にも熟考を要せざる問題なるべし。恰も敵の伏兵あるを知らずして、單身敵中に進むに等しく、所謂薄氷を踏むの愚なり、眞に此の油斷こそ、吾人の大敵たるを忘るべからず、吾人は飽迄も武裝し、而して警戒せざるべからざる也。然らば吾人は、如何にして更に武裝し、警戒をなすべきか。

吾人は既に、個人衛生に於ては、充分の注意を以てし、當局の指揮に從つて患者の申告をなしつゝあり、京城内に病毒傳播の遲々として、多くの病者を出さゞるは、即ち患者申告の、宜敷に據る處なるべしとは云へ、之を速に根絶するは團體的防止に若かざる也。團體的防止とは、吾人の常に唱道する衛生組合是なり。其の組織に就ても亦、大團體を要せざるべし、五戸或は十戸を以て一團となし、互に相戒め相護り、寸分の油斷だに現はさずんば、虎疫の全滅、敢て難きに非ざる也。抑も衛生組合なるものは、府廳所在地以外の地方にありては、現に其の組合の設立せられありて、一般の衛生に關係しつゝあるも、府政實施以來、府に屬すべき地方は、何れも衛生に關しては府の取扱となり居れるを以て、今日の場合、府内に於ける衛生は、府の掌握する所なるも、事務の多忙なる府としては、勢ひ衛生にのみ、全力を傾注する能はざるは當然なれば吾人が安全に、此の疫を脱れ、安堵に其の業に從はんには、吾人間に於て亦、其れ相應の設備をなさゞるべからず、それ個人自衛の途のみならず、共同生活をなす社會に對する、吾人の義務なれば也。吾人の武裝とは、即ち衛生組合の設立にあり。殊に京城に於て、就て發生患者の情況を見れば、内地人四名に對し、鮮人の二名なるは、洵に奇現象と謂はざるべからず。全鮮各地方の患者は、一般に鮮人に多く、内地人に少なし、我京城に於てのみ、其の異なる所あるは、實に遺憾千萬にして、吾人の面目に關する處ならずや。聞く處に依れば、北部朝鮮人街にては、既に衛生組合を組織し、以て大に警戒豫防に努めつゝありと、而も内地人間に於ては、未だ之在るを聞かず。吾人は切に、其の速設を力說する者也。

鐵自給策と製鐵所經營（六）

經濟研究會に於ける　押川製鐵所長官口述

製鐵補助材料の需給關係

以上の外更に種々なる材料が必要であつて、夫等は一見小問題の如くであるが、却々小問題ではない。例へば鋼鐵を造るのに滿俺鑛石は必要缺く可らざるものであるが、日本の滿俺鑛石は製鐵所の需要に足らないから、幾何でも購入するが其數量が少ないので思ふ様には持て來ない。二萬噸契約しても幸つと其の半分位しか持つて來ない實況であるから、是亦止むを得ず今日或は支那、或は印度、或は比律賓からも購入することを契約して居る。此の滿俺鑛石は銑鐵事業に於ては必要はないが、鋼材には缺ぐ可らざるものである。又耐火煉瓦が必要であるが、材料は餘り充分でない。煉瓦の種類は種々あるが、製鐵事業上一番必要なのは外國で出來るマグネシア煉瓦である、之は日本では出來ないので、クローム煉瓦を代用して居る。ところが此のクローム鑛も澤山出ないので、之を所有して居る人から製鐵所は毎も虐められて、言値放題でも仕方がなく買つて居る狀況である。尚ほ珪石で造る煉瓦が必要であるが、普通の品は相當にあるけれども、上等の品は甚だ少ない。是等も今日は種々な方法を講究しなければならぬ事になつて居る、そんなことで製鐵事業の經營に就ては種々なる材料を要し、而かも其の材料は何れも必要缺ぐ可らざるものであるから、注意研究すべき事柄が澤山あるのである。若し以上の材料の内朝鮮などでも相當供給して下さるならば、製鐵所に於ては誠に幸である。小銃の銃身用の鐵は鋼の爐で溶したものを更に坩堝で精製するもので、之を坩堝鋼と云ふか、近來英吉利に於ては坩堝鋼を電氣仕掛けで造ることが發見せられたさうである。製鐵所が之に要する黒鉛を朝鮮から供給を仰ぎ居る額が毎年二十萬圓内外に上るであらうが、製鐵所は朝鮮の爲めに此點非常に仕合せを得て居るのである。

製鐵所と朝鮮との直接關係は、鐵石並に坩堝に要する黒鉛等を朝鮮より供給を仰いで居るが、之に對し朝鮮に製鐵所より供給するものは不足に感ぜられて居るであらうけれど、軌條の如きは朝鮮に相當供給致して居る次第である。

製鐵所の製品

唯今茲に申上げて置きたいのは、製鐵所の製品のことである。今日製鐵所は陸海軍の軍需品の材料を供給し、其他軌條も却々澤山造つて居る。製品を區分すれば一番多數なのは軌條で、鐵道院で使ふ軌條は悉く製鐵所の供給に係る。但し軌條を造る鋼、釘を造る鋼とは普通の鋼材とは種類が違ふので、餘り他の用を爲さぬ。即ち是等に要する鋼は一種特別の鋼で造るのである。釘は御承知の通り從來外國から輸入して居つたが、年前安田善次郎君が外國の原料を用ゐて日本に於て製釘事業を起して居つたが、不經濟で遂に中止したのであつたが、其後製鐵所の原料を用ゐて東京と八幡の近所とに製釘所を設け、又大阪の岸本と云ふ日本屈指の鐵商が大阪に製釘事業を始め、近頃に於ては非常に盛んになつて、戰爭時分は全く外國の釘が輸入しないでも、此の三個所の製釘所で優に一般の需要を滿たし、更に今日は支那や南洋に幾分輸出して居る、昨今は日本には外國製の釘も隨分來るさうであるが兎に角釘だけは日本製で十分需要に應じ得るのである。其れから軌條を造るベセマーと云ふ爐は第三期からは廢めて普通の鋼を造る考へであるから其の方は變更したいと思ふて居る。

朝鮮の古城郭（二）

八木奘三郎

（一）城郭とは何ぞや

（承前）而して熟字的に城郭と云へば殆んど一物となりて區別なく、又事實上支那、朝鮮等の城は單に一郭のみのものを多しとすれども、元來城と郭とは其間に相違ありしと見ゐて、古書の中には次の如くに記せり。

釋名に曰く、郭は廓なり、廓落は城外に在り。

管子に曰く、内は之を城と云ひ、外は之を郭と謂ふ。

此二書の解釋は未だ疑義を免かれざるも、孟子に、三里の城、七里の郭、とあるに據れば元來城は二重に造りて、其本丸を城と稱し、二の丸若くは總曲輪を郭と稱せしものゝ如し、去れば茲に至て前掲呉越春秋の文に『城を築て君を衛り、郭を造て民を守る』と云へる意味も能く徹底し、隨て管子及び釋名の文も氷解し得ることゝなる可し。併しながら人類が初て城郭類を作るに、之を二重にすることは實例上有り得可からず、唯だ強て曰はゞ、住居と外郭との二者ありし爲め、其住居を擴大せしものを城と云ひ、夫れ以外の柵壁は大小に拘はらず之を郭と呼びしかとも思はるゝなり、此意を窺ふ可きものは又古書中に在り。

古今圖書集成に曰く、

按ずるに多士傳に曰く、古へは百里の國、三千里の遂、二十里の郊、九里の城、三里の宮、五十里の國、九里の遂、三里の郊、一里の城、城を以て宮と爲す。

又曰く。

匠人云く、宮隅の制、宮隅は則ち天子の宮なり、城隅は則ち中城なり、中城は方、九里なれば則ち宮城は宜く方三里なる可し其外城は經塗に文なし。

日報詩壇

○凉棚話月　木山芳洲

四面風搖荷氣香。凉棚架在水中央。披襟露坐三更月。主客清談一味長。

○同　小井

屋角凉棚架倚松。欄干咫尺躍蒼龍。夜深人語月明下。詩思濃于風露濃。

評曰　風趣橫生。凉沁心脾。

○園居夏夜　高田

蛙鼓聲中月未升。[illegible]趺坐淡如僧。[illegible]不是人間影。照[illegible]梁走馬燈。

評曰　絶好形容

○江亭即事　笹島紫峰

夕日紅明水縱橫。思詩亭上把杯[illegible]。[illegible]城八景入如間。指示洌川帆又帆。

評曰　趣承明麗

○同上　岡田牧雲

亭子枕江流。風光挑遠眸。風搖[illegible]葉。[illegible]湖[illegible]幽。喚起煙霞[illegible]。清然詩酒酬。俠家[illegible]閑我。心事付沙鷗。

評曰　風神清灑爽快無比

日報歌壇

四須吉俊[illegible]（京城）

永久に融かぬものをひそやかに見しおびへもて男と語る

雨夜をば絹もて包み抱くてふ極みとな君歎き給ひそ

露に生れ露に消ぬべき命ぞと夜毎鳴くなれ我がきりぎりす

きりぎりす汝がさみどりの薄羽もて秋の聲をば刻みゆくかも

秋の夜を七夕めきし計畫に君を見てけり白露の橋

妻となりひとゝせ經りぬ今ははた百年の日を迎へんと思ふ

情、野分に似たる殘虐をもたらしにけり心の中に

君が手に身を投げ伏していやちこき我が行く道見出す我ぞ

雞林同人會互選歌

木覓の峰の朝風吹き絶ゑてあさきりふかく松にたゞよふ　島村新右衛門

商梁の穗なみの末はきりこめて啼くこまのこゑのさびしき　丸野燦

あらいぎの頂はかり見ゆるかなさ霧のうちにかねのおとして　佐々木信一

夕餉たく煙なびきて遠方はきりにはれ行く秋の山里　坪内孝

山里はきりのまかきにとざゝれてとりの音はかりもるゝ曉　渡部舜次郎

このあさけうすきり立ちぬ野も山もやがてもみちの色にいでなむ　酒見浩郎

和田の原きりたちこめて入舟は空を出で來し心地こそすれ　佐藤正作

小木曾路やかけはしかよふ杣人のかけはのかにもきりたちわたる　丸野燦

大川のきしに舟よふ聲はしてさきりなかるゝ秋のあさかな　佐々木信一

あさまだきたけがりすらし山の端のさぎりのおくに人のこゑする　坪内孝

全部改版二新課目增設
早稻田大學
校外生募集＝＝新學年開始
總長大隈侯爵　名譽學長高田博士指導
政治經濟科講義　法律科講義　文學科講義　中學科講義　商業科講義
本年春季新學期開始何時にても入學せしむ
學費低廉講義平易■第壹號十月初旬發行
申込次第　見本つき規則書　直に送呈
東京牛込早稻田　早稻田大學出版部　電話番町

學生　十月號
我が敵　大町桂月▼身に著く新讀書法　中桂月▼上村大將最期の垂訓（明治大帝を守護し奉つた記）▼蒙古の大將軍▼秋野の觀察▼大小の學問を差せ▼學生を救ふは武道▼精神的療病の實驗▼歐州戰塵勢（繪入統計）▼學校亡國論▼最近運動界評判記▼英文疲勞と飢渇▼七曜の起原▼毛一本で天氣豫知コツクス氏▼外遊間話
定價三十錢　郵税共金四十二錢
東京神田　富山房

婦人畫報秋季增大號
衣食住號
口繪　野菊（原色版）岡田三郎助筆　流るゝ雲（オフセツト版）鏑木清方筆
北白川宮妃殿下と王女各殿下　閑院宮殿下の御出發
小説　姉の家　田村俊子
小説　最後まで　德田秋聲
長篇小説　お夏文代　菊池幽芳作　鏑木清方畫
拾月號に限り本號五拾錢
發行所　東京市京橋區鍛冶橋外　東京社　全國書店賣捌

新刊書御案内
家庭醫學　朝鮮行政法規大意　法律講義　立志　朝鮮行政法規大意問答　讀方教授の實際案　萬葉集　時は過ぎ行く　うき身　日本美術講話　實驗有効民間療法　紅夢集　菊花培養大觀　以呂波引漢字のくづし方　時價鮮肥判読古錢通覽　家庭園藝百話　布石攻合必勝法　考試資料　刺青　基礎健康法
大阪屋號書店　京城本町二丁目

正氣堂名刺舖　京城本町二　電話二一九五番

解職廣告
原田米吉　阿阪弘毅　藤川久太郎
右の者今般辭任解職致候間自今當社と關係無之此段廣告候也
大正五年九月廿七日
朝鮮製綿株式會社

補闕生徒を募集す
私立京城女子技藝學校
私立京城中等夜學校
南大門内（電話一七八九番）

朝鮮葬具株式會社　清算事務所
清算人　藤野富次郎
大正五年八月五日

債權請求申出催告公告
當會社は大正五年七月二十五日解散致し目下清算中なるに因り右會社に對し債權を有するものは大正五年十月三十一日迄に清算人に對し其債權の申出をなすべし若右期日内に債權の申出をなさゞるときは其債權は清算より除斥せらるべし商法第二百三十四條に因り公告す
京城府長谷川町七十六番地

第十九師團經理部
被服修補品購買入札
右十月五日競爭購買ス詳細ハ當部ニ就キ承知アレ

京城地方法院
商業登記公告

●隈侯辭任乎
加藤子を後繼に推薦
十月一日臨時閣議開會

大隈首相は夙に辭意を内奏したる由なるが當然の順序として聖上日光よりの還幸を待ち奉り辭表捧呈の意ありと傳へられつゝありしが最近に至り愈々決心する所ありたるものゝ如く同時に首相は辭表捧呈と共に後繼者の推薦を爲すは言ふ迄もなき處なるが既に寺内伯との交渉斷絶したる以上加藤子推薦の意思を有せるここ疑ふべくもあらず而して首相は辭表捧呈前後繼者等に關し一應山縣公と凝議の必要あり而も辭表捧呈の式は十一月三日は立太子式の御儀あり續て天皇陛下には九州大演習に行幸あらせらるべきを以て成る可く速かに決行せざる可からず依つて大隈首相は一兩日前山縣公に會見を申込みたるに對し山縣公は來る三十日上京すべく同日公侯會見の結果十月一日總辭職に關し臨時閣議を開き即日又は翌日辭表捧呈の順序となるべしと（東京特電）

●新黨組織と總裁制
三派交渉委員會第二回開會

三派交渉委員會第二回は二十八日午後二時より衆議院議長官舍に開會第一黨の首腦制度を總裁制とす可きか總務制とす可きかに就き各自意見を交換したる結果政黨政治の原則上黨務運用上の利不利に鑑み總裁制を採用することに衆議一致し其他の幹事若くは執行機關及び宣言綱領の草案を了りたる後各派交渉委員より大隈侯に對し正式に黨首就任の勸說を試むるに至る可し（東京特電）

●露紙の日露親善評
日露役に於ける我態度を稱揚す

露紙ガゼツト、ブウルスは閑院宮殿下の露國訪問に關し社說を掲げたるが其概要に曰く『露國皇帝陛下と閑院宮殿下との交驩に於て兩帝國が相互の親交を愈々鞏固ならしめんとするの希望を有するを認め得可し日露戰爭中に於て日本は其敵國に對し飽く迄男らしき態度を示したり日本艦隊は決して一女子小兒等を惱ましたること無く日本陸軍は決して博物館圖書館等を破壞し若くは婦女子を殺害したる事無し斯るが故に昨日の敵國は今日は既に最も親しき友邦となり得たるなり』云々（彼都電報）

●英軍チープバドル占領

英國公報に曰く英軍はチープバドルを占領し尚其の東方なる高地及びブシルン堡壘をも奪取したり（巴里電報）

●佛軍フレジクール占領

巴里來電＝二十六日發表の公報に曰く我が軍はフレジクールを全く占領したりベチユーム道路及ソンム河に對する敵軍の逆襲は擊退せられたり（倫敦電報）

●山根氏合同反對

小根正次氏は二十五日の評議員會席上故桂公の立黨精神に鑑み同志會の脱黨を非なりとし他二派を併合す可しとの意見を述べたる後直に箱根に向つて旅行したるが同氏の從來朝鮮に於ける個人的立場よりすれば此の際寺内伯に對しても一應の義理を立てざる可からざるより同志會の脱黨と共に自然無所屬に入る可ければ同氏の合同に不贊成なるは言ふ迄もなかるべし（東京特電）

●三線問題と決議
民政長官滿鐵總裁東上

三線聯絡運賃問題協議會出席の爲め白仁民政長官、中村滿鐵總裁は廿八日午前十時臺中丸にて出發東上せり旅順市民は其の前日大會を開き決議を爲し大連市民は二十八日午前埠頭廣場に於て第二次大會を開き一萬餘の市民參集の上決議を爲し之を長官總裁に呈し努力奮鬪を望み次いで萬歲を三唱し散會せり委員相生由太郎氏亦此日東上せり（大連特電）

□立太子式御儀

十一月三日御執行の立太子式當日は歷代皇太子としての表徵たる可き壺切の御劍を天皇陛下より皇太子殿下に御親授あらせられ同時に勅語を賜ひ正午よりは豐明殿にて内外臣僚に分饌あらせらるべく而して其の儀禮の莊重森嚴なるは云ふ迄もなく其の際殿下の召させ給ふ御裝束は立儲令に定めさせ給へる中朝時代の結腋袍と申し黃丹色の綾地に六瓣花花形中に丸に鶴の模樣を織り出したる頗る高雅なるものにして右御用命を受けたる高田茂氏は目下齋戒沐浴謹製中なるが最早大部分出來し來る十月十七日迄には上納の手筈なりと承はる（東京特電）

●總裁歸京
副産物は呂昇君

○東拓の吉原總裁二十六日朝俄かに東京を發して歸鮮の途に就く、二十八日夜京城に入るとの報ありて記者は其日の暮方烏山驛まで出迎へた。○總裁は豫想して居たとは違つて血色もよく、此前東京より歸つた時ほど音聲も嗄れて居ず、頗る元氣で、起つて記者を迎へて應酬する其の快活なるには寧ろ案外であつた○記者は京釜線の列車中に於て東拓總裁としての吉原氏を迎へる事が或はこれが最後——若し記者の想像にして誤りなくんば——であると思ふ時に、言ひ知れぬ感慨に打たれざるを得なかつた。此日總裁の乘つて居た一等車内は定席を剩さぬ滿員の盛況で、初渡鮮の呂昇もパツセンヂヤーの一人として大に幅を利かして居た、斯る空氣の中に在りて、記者は吉原總裁に向つて餘り立入つた問題について談話を求むる事を遠慮したのであるが、それでも總裁は元氣よく愉快に記者を捉ねて雜談を試みた○僕（總裁の日く）の病氣？なに大した事はない、只だ右の手が不自由になつたので、東京でも毎日醫者に通つて種々手を盡した、併しさう急には快くならねさ尤も江間俊一君が君の手の痛みには何よりも氣合術が一番利くと云ふので先生に行つて貰つて見たが、矢つ張り駄目だよ、氣合術なんてものは常識の發達した者には利かねやうだ○僕の歸鮮は是れほど遲れる筈ではなかつた、早く京城に歸つて跡片付けを爲たいと思つて總督にも屢々迫つたが、まあ待てまあ待てと却々御許しが出ず、又早く歸つて片付け始めて社内に動搖を起しても困ると思つたので今日に至つたのだ。○僕の辭表を提出したのが本年の三月で、五月の總會は是非濟まして貰はねばとの希望もあり、旁々隨分長くなつた、僕の歸鮮は僕自身の事丈けを決定して來たので、京城に歸つたら仕事は最う簡單だ、後任者？それは決つて居る、併し僕としては未だ發表の無いものとして今日は其の問題を取り扱つて置かう、東拓の北進？之れは北進も良い乍併安東縣や間島位に北進したのでは仕樣が無いではないか、僕は總督にも言つた、そんな事の北進では御免を蒙むりたいと、實際さうだ、其位の北進では却つて名は壯にして實は却つて貧弱だ、東拓は矢つ張り不都合だと世間の不評判を增す許りではないか……何れ京城で緩くり話す機會はあるよ○總裁は、總裁の前に掛けて居る年增を指さし乍ら、愉快に笑つて、君僕は今日臨時の世話人を得たよ、世話人は此の人だと、其の人と云ふのは年增の美人呂昇君であつた、實は本家本元の二宮秘書役は檢疫の都合で釜山に滯留したので、豫て知り合ひの吾が呂昇丈が釜山から此の方萬事總裁の世話をして來たのであつた○記者は此の機會に於て豐竹呂昇丈を總裁の臨時秘書役として其初渡鮮の感想（？）を拜聽するの機會を得た事を光榮と感ぜざるを得なかつた、何でも呂昇君は此の朝鮮に來る事は外國に行くが如く、先づ船路を怖れたさうである、彼女は曩きに北海道に行つた時連絡船が案外樂だつたので今度朝鮮海峽を渡る氣になつたさうだ、京城の呂昇崇拜黨よ、須らく青森海峽の温波に感謝せよと言ひたくなる○呂昇君は甲斐々々しく總裁の信玄袋の世話をしたり外套を被せたりし乍ら、頻りに村田さんの噂をした、餘程村田さんとは因縁があるらしい曰く、私は村田さんに貰郎が朝鮮に居らつしやる間でなくては行くのは厭ですよと常々申して居りました、村田さんの朝顔ですつてア、エ、エ、あれは朝鮮朝顔ですよ、村田氏は此の言葉に對して何と辯解するだらう○南大門驛頭には總裁を迎ふる人と、呂昇を迎ふる人と、前者は極めて靜粛なり、後者に對しては藝妓連の一團體、それに樂隊までも乘つて居る其のコントラストは記者をして再び感慨無量たらしめた（二十八日夜　日出町人）

●飽く迄道理を固持せむ
三線問題＝原田商業會議所會頭

三線連絡運賃問題は近來の大問題にて世上の論議喧囂を極むるも要するに世に是程 ▲愚の骨頂 はなしと思ひ居れり資本金二億圓を有する滿鐵會社の興亡に係ればとて朝鮮鐵道の存在を無視し强て日本内地よりの物資を大連に吸收せんとするが如きは如何に贔負目に考ふるも ▲正氣の沙汰 とは思はれず政府が多大の資金を投じて建設したる朝鮮鐵道に滿鐵が同じく鉅資を投じて改築したる安奉線は相連絡して歐亞連絡の大道にして之を充分に利用して交通の便を圖るは自然の必要に屬す然るを何事ぞ此便利なる交通機關の存在を度外視し自然に反したる理由を以て無謀の言動を爲すは實に國家交通政策の依て立つ所以を知らざるの行爲なり昔東海道線の創業時代に長濱と大津間は琵琶湖上を二隻の汽船にて連絡輸送を行ひ居り從つて當時の長濱は今日より以上に殷賑を極めたるものなり然るに其後鐵道線中の一小驛として面目を保ち居るに過ぎざるに至りたり假りに今日長濱の繁榮維持のために湖上連絡を繼續せよと云ふも誰れか耳を假さむや滿鐵會社が主張する所は此喩と何等擇ぶ所なし否な寧ろ東海道五十三次を膝栗毛で行脚せし往時の夢物語の譬に過ぎずして交通機關の一大退步と云ふ可きものなり故に ▲最後の勝利者 たる道理は遂に大連側の袋を瞞着するに至るべきを信じて疑はず然し乍ら近來政黨政治の弊として世間萬般のこと個々無理の道理を卻くるが如き逆事もあれば若し不幸にして大連側の主張容れられ其目的を達することにてもあらば之れ道理の滅亡にして世道人心腐敗の極に達したりと云はざるべからず人或は京城商業會議所聯合會又は京城商業會議所の態度なりやを疑ふ者あるを耳にすれども會議所が本問題に對して容喙せざるは敢て其勞を吝みてに非ず大人氣なければなり斯る問題に對し徒らに喋々妄動して政爭的お祭騷ぎを爲すは商業會議所本來の目的に反するのみか延て朝鮮總督の明を蔽ふものなりと思ふが故に自ら重んじて形勢を觀望せる次第なり

湖南遊歷（四）
無佛居士の談

▲木浦港所見

木浦の市街は嶮々たる儒達山麓を巡り形成し、街衢整然家並も能く揃ひ各通り共小ザツパリしてゐる、いかにも南鮮の港らしい明るい擇つた感じがする、宿屋も仲々綺麗で氣持がよかつた、前には世界有數の多島海を控へ其の港内は水深く大船の碇泊に適してゐる、一詩あり

沃野蒼茫欲盡頭。巇々儒達鎮商秋。商船管鑰踞把握。多島滿連四百州。

實業家では福田有造氏が木浦の草分けと聞いた、氏は三十有餘年前釜山から移つたのだが、其他木浦の商人は多く釜山を足溜りとして渡來したもので、其の商風も釜山の系統を引き質實勤勉だと聞いた假へば互商の主人でも自から店頭に在つて事務を取つてると云ふ風である、質實は無論堅確を意味するが一轉すれば退嬰陷入る惧れなしとせず、木浦人士たる者此邊に警省する所なかるべからずと云ふ、杞憂を漏らした人もあつた。

吾輩は十八日朝勸業模範場支場を參觀し棉作に關する諸種の栽培試驗に付石塚技手の懇切な說明を頂いた、續いて府廳に橋本府尹を訪問敬意を表し、正午は府尹木村健夫、山野瀧藏、松井直次郎、長野虎太郎の諸氏から東雲とか云ふ旗亭で午餐の饗應を受け高見を拜聽するの榮を得た。午後税關のランチで、油を流したやうに靜な秋の港内に乘出し高下島角を廻つて文祿役の勇將李舜臣の頌勳の碑を遠望した、甲板の上は秋風凉しく、一種の感慨に打たれた

亂松海角護神碑。曆數頭環跡復命。必覺人々爲其主。不傷呼倣大丈夫兒。

木浦の代名詞とも見られる棉の工場も案内された、乍遺憾なのは今日の所棉が畑にヤツト花を咲して居る時節にて、工場は其の運轉を休止して居る、若し夫れ棉の移出時にもなれば埠頭は忽ち包裝せる棉で埋まると云ふ盛況を呈するがその壯觀も惜しい事に見られなかつた。其日の午後の六時二十分木浦發列車で吾輩は有志に送られ北行した、八時三十時羅州に著いて旅館に入るとそこには既に榮山浦から來てゐる大塊翁が待つてゐて僕の室に宛てられた床の間には僕を待兼ねた俳句が貼付けてあつた。

●列車蒸氣暖房
二十九日より急行車に

鐵道局は秋冷にて氣温低下の爲め廿九日より釜山安東間急行列車及び鮮滿直通列車に蒸氣暖房を使用する由

●吉原總裁歸京

既報の如く東上中なりし吉原東拓總裁は二宮秘書役を隨へ二十八日午後九時南大門驛着歸京したるが停車場には東拓重役、辨に社員其の他官民の出迎ひありたり

●鑛區立會調査進捗

四月一日附總督府へ出願せる重石其他鑛區の立會調査は忠北慶北京畿江原各道の地方に亘り鑛務課より技手出張進めつゝありしが目下の所一小地方を除く外各地共殆んど終了せる由

人事消息

▲赤井定雄氏（海州檢事正）　廿九日朝歸任の筈

▲荒川喜代次氏（大阪工務所長）　二十八日夜木浦より入京天眞樓へ投宿

▲鹿兒島縣朝鮮視察團一行　二十八日夜入京京城ホテルへ投宿

南言北語

獨逸皇帝は今度軍人の減給をやる相な ▲ソンムなどでは一衝突に六人も殺す程コキ使うて置て減給なぞやられた日にはほんに軍人は立つ瀨がなからう ▲が、獨軍は大闇樣の戰術で糧は敵に採る主義で行く先き〳〵で掠奪横領をやるから減給しても存外知らぬ顔かも知れぬ ▲何あに片ツ方でドシ〳〵分捕せよと云ふ命令さへ出せば却て喜ぶのだらう ▲迷惑なのは其手に罹る地方だ ▲獨佛戰線は兎に角大した戰爭だが兩軍の鐵條網の長さを調査した閑人に依ると ▲少くとも三線苑張してあるとして延長里數二十四萬三千里であると云ふ、恰度地球を廿四巻する事が出來る而して其價格は約二億八千萬圓だ相な ▲吃驚するのは條線屋の小僧許りでない ▲森安建城博士の天振りは此頃頗る極めて猛烈になつて人を見ると何うだね『月澄めり松は其まゝの影を宿しては』と來る ▲イヤ其の運發なので大分辟易して居る向もあるとの事 ▲處が博士は平氣なもので此句の方は先づ之れ位堂に入つたから此頃はボツ〳〵和歌の方をやつて居る、案外雜作はない ▲先づ天性思想の豐富なものは何をやつてもね……近頃のを鳥渡披露すると ▲「家々は霧にかくれて遠かたの空にねむれる北漢の峯」「谷川に衣打ちつゝ高麗人の月を背にして唄うなり」「眺むれば土橋をいそぐ小馬も見ゆ人影さへも霧にかくれて」▲何うだい此の調子だよ俳句も和歌も矢張り上品な新しい處を考へると好い ▲とサイカイがないには大抵參る

京城專修學校教官　安達大壽計著
新刊　受驗必携
朝鮮行政法規大意　續篇　定價四十錢　送料金四錢
本書は曩に發行し嘖々たる好評を博せる朝鮮行政法規大意の續編として専ら試驗問題に適切なる重要事項の全部を網羅し之に當局者の方針に則り極めて懇切明確なる模範的の解答を施したるものなれば、判任官見習の受驗者は必ず前篇と共に之を準備に供せられんことを祈る、殊に司法法規及警察法規は特に之を詳述し、警察官並に裁判所書記志望者の便に資せり。
發行元　京城本町一丁目　振替京城二五七三　大阪屋號書店

大好評忽重版
カイゼルの外妾の告白
註文殺到又復賣切ぬ内に購讀せよ
□今ロンドンで大評判□忽廿版を賣盡す□出版界空前の奇書
海軍中佐　若林欽先生新譯
■定價金七十五錢■郵稅一部金八錢■製本改訂極美裝■四六版三百四十頁
獨逸宮廷秘密曝露　家庭教師となりて五年間の住込にて幽囚せられし逃亡して故國に歸りし一英婦人の赤裸々なる記錄にして皇帝以下宮廷の内情は全く其皮を剝がる。
▼小說より奇なる興味深き事實譚
實業之世界社

燈火可親讀書の最好季　良書撰擇の羅針盤
最新訂正　**内外書籍目錄**　無代進呈
ハガキにて御申込次第送呈す
古今内外の圖書數萬を網羅し新刊書を掲げ最も廉價の販賣價格を明記したるもの求むる者唯一の羅針盤なり
大阪心齋橋通博勞町角　嵩山堂書店

冬衣大賣出シ
十月一日ヨリ五日間
三中井呉服店
所在地　京城本町　元山仲町　大邱元町　晉州榮町
（釜山支店十月五日開店）

鑛山營業
各種礦石買入
重石買入
▲鑛物定量分析▲鑛山測量製圖
Ⓚ　金石商會
京城鐘路二丁目九九番地　電話一八九九番

…子美術學校を卒業し…婦人年限附屬品研究の爲め三箇年間歐羅巴留學を命ぜられたり（東京特電）

…東方に移動せし…米特電
天候恢復し且氣温順次下し北鮮…境邊は十三日最低氣温五度内外に下り平年より一般に寡少なりしも旬の…

木浦　三六　二七　…
釜山　三三　二〇　三　…

淋しい病床の蔡鍔將軍

食慾が衰へぬやうにと心盡しの料理

病督軍蔡鍔氏が福岡の大學病院に入つて早や二週日を過ぎた遙々異國に治療に出かけて來る位の重病であるから未だ眼に見えて輕快になつたと迄は云はれないが牀上の顏容何となく元氣づきたりとは喜ばしい事である然し其病床は怎麼に淋しいものであらう

◆親しい家族とも

離れて人事を異にし言葉も違つた人の中に病軀を横へて居るのである漸く長からうとする初秋の夜の音よりも外に慰むる者もない病床に多事なる故國を思ひ思ひの儘にならぬ身をもさかしがる英雄の心裡は氣の毒ではないか氏の病床日記は今洩す譯に行ぬが其一端を記す氏の爲には病院の方でも特に氣を付けて居る有ゆる方法を以て病床に倦きない樣に手を盡して居る第一

◆食慾の衰へる事を怖れて

食膳には念に念を入れて居る。氏の食事の爲めには本國から手馴れた支那料理人二人を伴つて來てあるが氏は支那料理を喜ばぬ毎日日本料理をとの事で其獻立にも醫員が掛り切つて遣つて居る初め病院で調理したが何しろ立派な暮しをした人であるから氣に入つた料理などは病院では出來ない後には市内の名ある料理屋に命じて居つたが今は大學前の某旅館より調進させることにしてある

◆三食共に五菜を

添へる時節柄刺身類は使へないし酢物は咽喉の病氣であるから用ゐる事が出來ぬ其他攝取を禁じてある食物もあるので限定された材料を以て一日十五菜の異つた料理を作る事は容易でないそれも毎日同じ者を勸める事は出來ないから獻立には一方ならぬ苦心が要る然し病院の方でそれだけ氣を付けてゐるので蔡氏の食慾はます〳〵進んで食事毎に『おいしい』と云つて喜んでゐる。病床にあつて人氣のない程淋しい事はない。

◆相語らなくとも人顏だけ

はほしい蔡氏の夫人や家族は入院以來たつた一度見舞つただけで氏の病床は至つて淋しい。醫員が氣の毒がつて『御家族が御見えになる樣に申しましようか』と尋ねても『子供が來ると五月蠅いから』と斷つて一人默々と白いベットに包まれてゐるそれには氣兼や遠慮もあらう家族は箱崎濱の常盤に暮してゐる皆

◆日本語の出來ない

人許りであるから何彼につけて不便勝ちである大學在學中の支那留學生が何彼と親切に買物等の用を足してゐるが家族は少しも外出せぬ支那の婦人は多く外に出ない習慣からでもあらうが夫人が病院を見舞はれる事の少いのも住み馴れない土地の何となく便りなく思はれるからでもあらう夫の病狀を電話で聞くだけでは滿足されないのは人情である

◆出來得べくば病床の看護

もしたい位であらうそれに一日一度の見舞さへしないであの一軒家に淋しく暮さなければならぬのは氣の毒である、世間の事情や病人が居ると云ふ淋しさが夫人を初め家族の生活を小さい一軒の家の中に封ぢ込めたのである（門司特信）

匪徒を一掃せん

滿洲の無賴漢續々逮捕せらる

都督府は滿洲に於ける日支無賴漢の横行に鑑み是等匪類は内外の別無く我が行政區域内に入る者は嚴罰に處する旨二十七日告示し既に續々逮捕され彼等は今後身を托する安全の地を失ひ大恐慌を起しつゝあり（奉天特電）

工場爆破

佛飛行機爆彈を投下す

二臺の佛國飛行機は獨逸のクルップ工場に爆彈を投下せるため同工場は爆破せり（倫敦特電）

各町の總代會

京城神社祭禮の準備

京城神社の祭禮も漸次切迫せることゝて其準備の爲め二十七日午後五時より本町二丁目淸香園に於て各町氏子總代會を開會し山口太兵衛、天日常次郎、秋吉富太郎、釘本藤次郎、渡邊五郎三郎等の諸氏四十八名出席し大垣幹事長議長席に著き谷村神官の說明にて左の各項を議定せり

一、祭典日取　十月十六日前夜祭、十七日大祭式典に御發輦、十八日御還幸
二、大祭賞勝　本年度の當番第三區内の氏子委員に於て分擔奉仕する事
三、神幸御道筋　行列順、御道筋は昨年通りの事
四、御旅所　龍山の事
五、各町供奉　各町に於て神輿の供奉として高張提灯一對又は町名旗を新調して行列に加はらしむる事
六、神賑ひ　各町の餘興は賑々しく舉行し各家庭に於ては適宜の神賑ひを設し内地に於ける氏神祭同樣奉祝する事
七、汽車割引　祭禮當日京龍に往復する地方乘車券の賃金割引を筋に請願する事

コレラ彙報

▲龍山の豫防　龍山有志は本社の虎疫豫防講話に感ずるところあり各自衛に最善の手段を盡すため二十七日の有志大會を利用し之を會議に附し全町舉つて掃除消毒を嚴にし當該分隊と一致して防疫に努むる由

▲平壤の防疫講演會　廿七日午前十時より平安南道警務部長は平壤南門通り活動寫眞館に朝鮮料理店、飲食店、妓生抱主、宿屋其他の營業者四百餘名を招集し虎疫豫防に關する訓諭を爲し尚隨行の野村警部、岩木警務部衛生課…等にて平易に且つ親切に豫防講話をなさしめたるが一般聽衆は深く感激せり（平壤）

犬の御自慢

□躾の良い權君（一）

純英國ポインター前の主人は阿部鮮銀支店長——五百圓の値——初陣は鷄井里の鴫　和田ドクトルの愛藏

◆秋天高く犬肥ね狩獵の開期を二三日の前に控へて狩獵家の双腕が拵りに鳴る頃となつた。平素から虎の子よりも大切にしてゐるのは獵人の常だが初陣の功名に焦慮る此の頃のその可愛がり方は亦別なものだ、ざうだ、それでその愛犬振りを拜見と出掛ける

◆小松生ひ繁る岡から京城全市が透いて見ゐる南山の中腹に沿うた旭町一丁目の和田（八千穗）さんの裏庭八千坪の芝生築山を自由の天地として白楊の梢に囀る小鳥の歌にも應接間の窓掛を洩れてくるピアノの音にも、鋭い神經を働かし、耳を澄まして小首を傾けて獵犬振りを發揮してゐるのは和田さんの愛犬『權』である。

◆純英吉利ポインターの當三歲の牝で和田さんに仕へたのは今年の五月、ポインター種の癖に毛の長いのは安東縣の生れのせいかセッターが交つてでもゐるのか、兎に角些しも家がらないさうだ。始め西洋人の家で產れて

某陸軍將校の手に

渡り更に先達て安東縣から哈爾賓支店長になつて行つた朝鮮銀行の阿部（讓）さんが使つてゐたのを和田さんが貰ひ受けたのだといふ

◆黑毛の斑で眼は爛々として鷹のそれのやう額から口元にかけて彎曲して手足の逞ましいのは獵犬として申し分無いといふのが、和田さんの最も得意とする所。更に亦和田さん

の自慢の鼻を高める事實は訓練が行き屆き一進一退和田さんの命維れ隨つて動く事である。

◆雉を追ひ出したり、獸止めたりした場合、血氣に逸つて夢中に驅け出すのが多いが何時如何なる際でも

勵聲一番鞭を揚げると、ピタリと坐つて更に命を待つ良習慣が狩獵に當つて好都合なのださうだ。『恁んなに訓練された犬は內地へ持つてゆけば四五百圓の價値は十分なんですよ』と『權』の頭を撫でる和田さんの眼には熱愛の閃きが見ゐる。

◆『今年貰つて京城での獵は始めてですからね、試めして見たくつて〳〵堪らなかつたんですから此間の祭日に黃海道の鷄井里まで行つて見ましたが、イヤ實によく働いてくれましたよ

私が犬を飼つた内

での傑物ですよ』と言ひながら犬の寫眞の澤山に溜いた獨逸語の本を持ち出して來て『權』にそつくりの繪を繰りひろげては『これだ、これだ』と獨り喜ぶ所などは蓋し愛犬家としての通癖だらう

仁川の下水問題（二）

惡疫の蔓延と當面緊喫の要務

仁川市街に一度虎疫の發生するや勢極めて猖獗忽ちにして患者三百名を超たり。爲に社は深く市民の不幸に同情すると共に病毒の蔓延が仁川の下水設備と關聯するもの多しとの識者の見に鑑み同市當局の下水に對する所見を敍した。

■極めて不統一　府尹久水三郎氏談

仁川の下水溝は元、府及び公共團體の事業として計畫された者で無くて或は支那居留民或は民團或は各國居留民或は個人等の手に依つて秩序も無く各々の便宜に依つて造られた者であるだから本町一二丁目及び海岸町一二丁目の間を通ずる下水溝の如き幅六尺高さ八尺もある過大の下水溝があるかと思へば本町及び海岸町二三丁目の間並に山手町二三丁目から海岸町三四丁目の間を貫く下水溝の如き人口稠密なるに加へて急傾斜地に在り乍ら幅高僅か四尺內外で豪雨でもあつた場合は水は地表面に溢水して所定の量を流し得ぬ樣な極めて不統一な狀態にあり殊に濱町の一部の如きは最大滿潮の際は浸水して

▼下水の疏通を塞ぎ然も下水溝の斷面が或は膨大し或は縮少して居るから汚水は開渠の部分から氾濫して人家を浸す事も珍らしくない土木局出張所では築港と共に花房町から山手町を經て新町及び宮町より公園に至る迄の分水嶺以南二百四十エーカーの市街地から流下する下水を海岸町通の大下水溝に聚め之れを港町から海中に注ぎ入れる幅五尺高さ六尺の大暗渠を設けたが更らに疎通を一層圓滑ならしむる爲に濱町から公園下の海岸に至る大暗渠を計畫中であるを要するに仁川の

▼下水事業は　不完全乍らも開渠が縱橫に設けられてあるから目下の處では此れが爲めに甚しい苦痛を嘗める樣な事もあるまい、只遺憾に堪へないのは今度虎疫の猖獗を極めつゝ有る鮮人部落の下水問題であるが同方面は自然の地形上排水が困難な處もあるし、又山の中腹に在つて自然に流れ下る處もあるから此の方面は是非共溝を完全に掘鑿して排水の方法を講せねばならぬと思ふ

■病毒の蔓延は當然のみ　警察署長松元鶴熊氏談

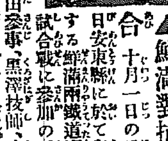
仁川に於ける下水問題の解決は焦眉の急務であらうと思ふ、今度虎列拉が發生した鐵道以北の地たる、新花水里、花平里、松峴里、松林里金谷里及び其以南の地たる寺町、挪町、龍岡町、栗木里等には下水溝の設備が無く人家稠密した邊りは

▼汚水が湿潤して　其の不愉快さは名狀し得ない程である、本署では此等の部落及び町の住民に對しては汚穢物の處理、汚水の排泄下水溝の修理、排泄等を嚴重に勵行して居る、其の結果近來面目を一新して人家の周圍は塵芥類の跡も止めぬ位迄に淸潔法の實行上遺憾無きを期して居るが只前にも言つた通り下水溝が無い爲め汚水や雨水は停滯して少々曇雨天でも續くと恰も沼澤中に人家が埋れてある樣な感がある計りで無く此等汚物を含んだ水は地中に滲透して井戸水を混濁せしむる爲め

▼此方面の井水中　飲料に適した者は絕無と言つて宜からう此れ畢竟するに下水溝の設備が全く無い結果で若し多大の經費を支出して完全に排水の方法を講じ得たならば土地は高燥なり地質は宜し今度の如き激烈なる病毒の侵害を見るに至らなかつたかとも思はれる更らに支那人居留地、內地人街、各國居留地等に就いて見るに此方面は二筋の暗渠があり其外方一尺位の小溝が縱橫に作られてあるから下水溝として遺憾無い程度迄には整ふて居るが、併し此は單に稍體裁を具へて居るに過ぎぬ位の者で到底不統一

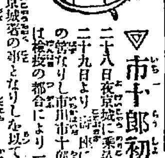
▽不均整を免れ得ない、我輩の平素の持論としては須らく此の不統一にして區々たる支那人居留地、內地人街、各國居留地、及び鐵道以北の四大區域を一大設計の下に統一し以て全市中の排水を完全にせしめねばならぬと思ふ、幸に仁川は中央に丘陵、山頸があつて直ちに海中に流出せしむる事の出來る下水溝設計上天惠の地とも言ふ可き地であるから萬一我輩の理想が實現した曉は僅かに港街として他に得難い程の健康地となるであらうと思ふ

名優 市川市十郎 大一座は去る廿七日朝內地出發渡鮮の途に就けり 着京の上は壽座に於て花々しく開演す



▲鮮滿對抗試合　十月一日の日曜日安東縣に於て舉行する鮮滿兩鐵道庭球試合戰に參加の爲め鐵道局より和田參事、黑澤技師、中野技師、井上副參事の諸氏は選手を隨へ三十日夜行にて北行する由なるが選手は七組にて其の氏名左の如し

（矢野 中川）（青木 松本）（川崎 大塚）（永田 若泉）（大塚 大內）（堀口 中川）（園川 永海）



▽市十郎初日　二十八日夜京城に乘込み翌くる二十九日より壽座に開演の筈なりし市川市十郎一座は檢疫の都合により一日遲れて二十九日夜京城着の事となりしを以て有樂館に於ける呂昇と同じく三十日初日にて開場の事となれり

▽呂昇の乘込　三十日より有樂館に開演の女義太夫豐竹呂昇の一座は二十八日午後九時南大門著關元關係者多數の出迎へを受けて呂昇親子、新免支配人その他二三の者は巴城館に投じたるが愈々三十日より五日間開場する由なり

▽大正館　探偵活劇暗黑面、新派悲劇櫻び、新劇武林唯七にて連日好評を博しつゝあり

▽黃金館　お馴染が終りに近づいたる帝とて連夜盛況なりつゞけつゝあるが例の奈良丸の弟子なる奈良勝の赤垣源藏の寫眞に就いての浪花節にて好評を博し居れり

京日案内
普通一回前金一行三十錢　番外一回前金一行五十錢
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

◉代診及び看護婦採用　希望者は本人至急來談あれ　京城明治町二丁目　鶴田醫院　413

▼御不用の雜誌古本は是非信用ある▲ウツボヤ書店　本町二、電二五二七　165

○古本なら野村　明治町筋　電二六三六　買入誠實御報參上　野村書店　281

◉自轉車の中古一臺讓受度し　京城北米倉町　玄米乳舍　電話一五四七番　416

◉代診生至急入用　履歷書携帶來談あれ　姓名（京日仁川支局）希望者は自筆の　415

◉貸家　日本建溫突付三室五圓半　三坂通官吏向の別莊的　管理者　新龍山漢江通　龍山印刷局先畑中　296

◉恩給年金　低利即時立替　六番地元田町　江州屋龍山支店　222

古本　高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　163

◉金融　月收の御方へ信用極秘　立替御報伺上候　京城大和町　三不老湯前横丁下る　起木屋　404

◉店員入用　年齡十八歲以上御得意廻り本人來談保證人を要す　新龍山電車終點前　龜屋雜貨店　297

◉派出多忙に付き至急　看護婦募集　明治町二丁目　惠愛看護婦會　295

◉英國製拾二番二連銃附屬品一切　右安價にて讓る御希望の方は　電話一千〇十六番へ　288

◉松汀里光州間自働車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す　▲光州加藤自働車運輸部

番外　店員入用　十四五歲より十八歲位迄の男子一名採用す身元保證人を要す本人自筆の履歷書送れ　京義線沙里院　伊藤吳服店　411

移轉　傘提燈商　明治町二丁目　漢城病院前　大島商店　電話一六三五番　414

京城春川間乘合自働車　賃金片道四圓　◉京城發前九時　京城水標橋通り　電話武壹參八番　◉春川發前七時半　京春自働車商會　支配人　松田壽男　202

▲中古ミシン賣買　御用の方は御一報次第參上可仕候　京城鍾路二ノ二七　電話二三三八番　楠商店　410

病人輸送　寢臺車　普通病用　傳染病用　各別々に本町二の前山組電百十六番へ御用命願上候　京城醫師會　418

高等下宿　割安勉強　本町二ノ四五　山田醫院前　和合館　419

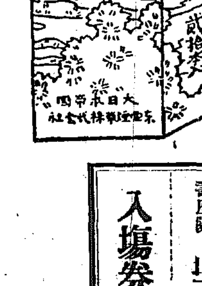
見習店員採用　年齡十六歲より十八歲迄高等小學校卒業程度の者二名採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ但市內に確實なる保證人要す　南大門通一丁目　三國商會　401

店員入用　十五六歲以上二十五六歲位迄商業に經驗あるもの數名希望者來談確實なる保證人を要す　京城本町　ちしぶや　電八九〇番　405

◉京城春川間行自働車賃金片道四圓　◉京城春川間毎日午前八時出發　南大門通一丁目　廣橋自働車　電話二一九番　主務　金正濶　195

藥學講習生募集　夜間教授　九月三十日迄に申込まるべし規則書は市內各藥店に配附せり　事務所　黃金町三梅崎政雄方　藥學講習所　209

礦物定量分析　京城府太平通（朝鮮公論社左小路）　電話一三四四番　坂元分析所　252



二度と見られぬ
名優の技を
煙草の景品が付いて
觀られます

大阪名代の老優
市川市十郎歌舞技大一座
自九月廿九日
至十月八日
於壽座

特等　八千代二包
壹等　敷島二包
二等　朝日一包

入場券賣販所
壽座前　牧野近藏
壽座前　岩田留太郎
壽座前　玉屋
壽座隣　山下政治
入場券賣販所

入場券は
右の販賣所
にて買ふのが一番御徳用
煙草の景品が
澤山付ます

東亞煙草株式會社

…來年度より二ヶ所繼續として工事に着手する事となり總督府の補助總工…りたるが水源地は府内輸城河畔に選び同所に井口を穿鑿し同井水を濾過…なり又た昨年より起工の清津府東海岸漁港は本年十一月末迄に防波堤…

…市場は明年六月頃同所に移轉すべく又た漁業關係者も自然東海岸に移轉するに至るべきを以て同方面市街の…市街をして之に當らしむべしと…

渡邊默禪

「二一八」切なるすゝめ

大野は鳩子の悲しさうな樣子を看てとつて、少し語調を柔げた。

『いや、それも御無理もないです。二十年近くも眞實の姉妹だと思ひなされて、お姉ね樣〳〵と呼んでゐられたんですからね。今突然に爾ういふ事實が分つたとしても、直に他人のやうに思へないのは無理もありません。習慣は心理上の水成岩だといふぐらゐですからね。』

慰めるやうに言つてから更に、

『併し貴女はその感情に囚はれなすつては駄目ですぞ。押切つて打勝たなければ決斷がつきません。住江さんはそれを心配してゐるです。今拜見した手紙の中に、くれ〲も大河野家の名譽、一門の體面といふことを頭腦に置いて考へなさい。私情に拘泥するなと戒めてあるのは其處です。僕に言はせると此際爾ういふ秘密が分つたのは、早く家庭の廓清をしろといふ天の啓示なんです。ばた〲と大掃除をして有害な黴菌をたゝき出すのが今ですよ、お孃さん。機會を失してぐづ〳〵してゐた日には、輝子とそれから最う一人、そんな有象牙象が寄つて群つて、どんなことを爲すか分らんです。貴女は今になつて稍と僕から注意したことが思ひ當るでせう。僕はあの大井澤の橋の上で爾う言ひましたなア、貴女を殺さうと狙つてゐる者は、源太ではなくつて外にある。それは貴女に最も近く接してゐる者だつて。』

『ね、爾うよ。』

『その一人は輝子です。』

鳩子は何の躊躇もなく頷いた。

『もう一人はその弟の生駒です。』

『ねツ、生駒さん??。』びつくりして顔色を變へた。

『今夜はいよ〳〵、僕の思ふ所を一切打明すべき機會に到着しました。源太の背後には生駒といふ怪物がひそんでゐたんです。彼奴が源太を手先に使つて、一度ならず二度までも貴女を脅かしたんです。』

『へゑー。』鳩子は目を圓くして息を呑んだ。

『源太が貴女にその名を明さなかつたのは、彼に聊か俠氣——といつたやうな小さな意氣張があつたからなんでせうが、彼の場になつても言はせないのは、生駒の用心深いところなんです』

『だつて、大野さん、生駒さんが私しを殺すなんて、そんな理由がないぢやありませんか。何も爾も父の世話になつたお蔭であれだけの紳士に……。』

『さ、それが貴女のやうな世間不見の考へることなんです、失敬ですが……彼奴を紳士なんて言つたら、狼や狐もみんな紳士です。』

西洋料理、すき燒、ハイカラ丼
おいしい事京城第一との高評を博し居り候
南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

『だけども訝しいわ。どうして私を殺さなければならないんでせう』

『其事だけは今までの所、僕にもはつきりと理解ができませんでした。必然爾うだと判斷されても、その理由を貴女に向つて説明するのに苦しんでゐました。けれども住江さんの手紙を見てから、一時にそれが氷解したんです。成程と首肯かれたんですよ。つまり輝子と生駒は秀子を子爵家の相續者にして、そつくり名譽と地位と財産とを取りたいんですが、それには貴女といふ邪魔者があるでせう。一方は庶子、一方は嫡出子、貴女に相續權があるのは當然なんですからなア。で、貴女を此世から葬つてさへ了へば、無論その權利が秀子に移るから、必要の前には何物もなしで、兇暴な計畫をするやうになつたんです。秀子と密會して教唆した輝子の語や擧動が、明かにその事實に裏書してるぢやありませんか。だから僕は此際、一擧に斷乎とした處分を下して、三人共に制裁をしない以上は、一家の基礎を覆されるやうなことになり、貴女の身邊からいつまでも危險が去らないと爾う云ふのです。お分りですか』。

皮黴科
入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚病 黴毒病 痳病 膀胱病 生殖器 機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元明治町)
佐藤醫院(電話一一七三番)

◉北漢山に俳旅行を遂ぐ(下) 耳木

自然の靈を極めんとて、案内者をやとふ。道なき所に道ある案内者の歩きぶり、我ら追ひかねて、「かまに〳〵」と繰りかへす。すゝき未だ老いざるに、楓既に紅葉せり、見るもの我等の采線にふれざるなし。岩壁に爪立て登る。一歩あやまれば南無阿彌陀佛となるべし。毘丸踏つて秋風凉し此間俳句庭にあらず、命あつての俳句なればなり。辛じて絶頂に達す。

禁裡の宗に吹きあぐる風の秋晴
絶頂の我な蔽へる一枚の青空
絶頂の秋に立つ我の頭の尖り
足許に擴げたる山の秋の色
見ゆる限りの山々の風領しけり
山々谷々秋晴るゝ一つらのいろどり

木耳誰んで絶頂に小便す、三年の後、京城の我井戸に湧かん、時に午後三時、たづさへ來りし瓢を傾く、一著せめてもの記念事業なり、愛をさきて下り、城壁を傳うて東小門へと急ぐ、われもかう檜の脚の朽ちたりな
城壁は蛇のごと秋草の中を這へり
城門くゞれば谷に下り、石磊砢たる川を縫ふ路なり、
谷川の香と連れてかるかやの路
花野たそがれ虫の音風に消ゆつ
虫の音ほそん〳〵花野は暮れたれ
芒わけて默つて下る我と人との暮
我ゆふれて折れたる女郎花かな
漸くに路坦かなる村に出づ、家々に温突の煙靜かなり、森満る。
柳散る水涸り苔の滲るなり
折りたる花、一抱へほどあり、捨ずやとはぬは花に對する忠義なれ
秋の花持ち重り草鞋ちびけたり
持てる芒にちごら迎へたり
七時半の上に足をのばす
ポプラ散る〳〵麥酒の冷かさ知る

新刊紹介

▲講談俱樂部(十月號) 長篇講談には大石五郎藏、星野綿部、猫の爾あり長篇小説に櫻子鳥ヶ淵、妖婦お玉あり其他寫眞小説、活動寫眞落語、浪花節等いつも乍ら賑かし(二十八錢東京市本郷區駒込坂下町四八共社)

▲學生(七不思議號) 書に七不思議のみならず歐米支那埃及其他世界各國に於ける不思議數十を集めたり數旅を萃むれば櫻月の不可思議論を初め曰く臨終の神通力『編集博士』大仕懸の珍興行『佐伯博士』火を吐く水『山川博士』夜半の太陽『黑板博士』雲中の兵へ『松本博士』其他數十博士諸名士皆不可思議に就て面白き觀察を述べたり(本號に限り三十錢東京市神田區裏神保町富山房)

▲新家庭(十月號) 南香浦の渡る雁と題せる艷麗なる美人畫を以て卷頭を飾り紅葉の下撰玉川の秋の雨及び現代婦人界に於ける女流諸家才媛門下生等の寫眞數十之に次ぎ欄内には東山新名所國粹三十頁名越國三郎氏の清新なる筆致を見せ讀物には引續き光秀の妻を載せたる外天滿與力あり其他依例華かなり 三十錢東京市芝區公園地九玄々社)

▲新時代の女性『西原和治著』 二三の若き女性が著者に與へた文章に對して著者が之に批評や感想を加へたるもの並めた所で結婚及び同棲の意味、女教師生活に就て、回想の處女時代、愛と疑等約二十篇を收めてある若い女性に總發になる事が多からふ(四十五錢淵京山神田區錦町三八の洛文社)

▲露西亞紀行(工學博士西田博太郎著) 從來我が工業家にして親しく露國を研究したるもの極めて稀なり著者嘗て戰時の露國産業を研究する目的を以て具さに視察調査の材料を齎し歸來露國の産業の著述をなすに先ち露國觀察記を纏めるもの即ち本書にして獨逸勞力の露國産業に浸潤して決して一朝に拔き難き所說くと所弊害の限光露國の病弊を指摘して餘すなし特に露國の紡績工場、莫斯科の更紗工場、露國職工の生活振の觀察に至つては斗府の觀光客の窺び知り難き處なるのみならず又一般の露人風俗を說く所頗る詳なり特に口繪に補助貨の拂底の爲め發行せる通貨代用の切手を原色版として添付せるは頗る珍とすべく挿畫は石井柏亭、山下鈞兩畫伯の筆に成り近來の好著なり(東京丸之内日本工業通信社發行定價五十錢郵稅四錢)

此頃小學校生徒中に珍的小形の天一坊とか忍術抔と題せる小説本を讀み耽るものが中々に多い樣であるが之は教育上に憂ふべき現象で遂には肝腎學課の豫習や復習を厭ふ樣になる自分等も平素八釜しく小供に言聞して居るが其れでも尚折々見付けることもある中には書籍屋の店頭に立て數時間彼此と繰り換げ店員の隙を窺ひ一冊二冊と窃かに懷中に忍ばせて持ち歸るものもある樣に聞き及んで居る誠に恐るべき次第である學校及び家庭に於て嚴しく取締るは勿論書籍屋に於ても之等の小說本を手にする小供に對しては特に監視を嚴重にし萬一不心得のものがあつた時は窃かに住所を問ひ糺し店員をして其宅まで連行せしめられたい尚ほ此のことに就て御意見のある方は本欄に於て御發表を願ひ御互ひに研究して見たいと思ふ(一老父)▲電車を出す時止める時にゴツン〳〵と荒々しく取扱はるゝ車掌は非常に困る又た此頃能く其れをやるから閉口だ殊に其れは本町終點から博物館前に行くのに多い(通院生)▲此頃自轉車のベルのないのに乘つて走せ行く者が多い不意に後からツーツと驅け脫けるには腹が立つ(老人)▲東大門外の京城大下水の下流で野菜を洗つて居る鮮人が多い彼れは大丈夫ですか(神經生)▲貴社で最一とつ蠅の驅除巡回講話をやつて元價で蠅を驅除する藥でも分配すれば非常に市民は喜ぶのであらう(龍山の衛生家)

▲廣告

京染の好時季
京都市新町通綾小路下る 木村勘兵衛染工場
電話 下四十二番 振替口座大阪二六七七番
◉定價表御注文用紙無代郵送す

叢松堂書店 京城府 第一京城店 仁川店
書名 著者 定價
◉人生の快樂 大内青巒 一、二〇
◉脚本アンナカレニナ 松井松葉 七〇
◉ランニング 金栗四三 八〇
◉日記からアートマン 八〇
◉千氏宗教學原論 鈴木宗忠 二、〇〇
◉應用家庭醫學 羽太鋭治 四七〇
◉故實と新式日本婚禮式 玉置一成 一、八〇
◉古錢大觀 中橋掬泉 一、五〇
◉和漢古錢通 末松泉斎 四五〇
◉和漢古錢價格便覽 奥村金次郎 一、二〇
◉法學通論 中村進午 一、三〇
◉日本行政法 第四卷 美濃部達吉 二、〇〇
◉日本償權法總論 鳩山秀夫 一、八〇
◉社會政黨及政府 上杉愼吉 二、五〇
◉ツオードの社會學 藤森達三 一、五〇
◉露國研究 同文館 一、〇〇
◉國文口譯萬葉集第三編 芳賀矢一 一、五〇
◉同 第二編大鏡 同 一、五〇
◉倫理綱要 木下四郎 一、八〇
◉英文叢書 南日恒太郎 九〇

新刊圖書御案內
京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四五四番

鹽 各種食鹽販賣 殼物委託販賣 龍山製鹽所 龍山元町四丁目 電話龍四〇七番

各國時計 自轉車 蓄音器
直輸入 御商 喜多金光堂
京城黃金町二丁目(電話一〇一五番) 振替口座七八二番

日韓書房 新版報告
栗原古城譯 新譯 西洋品性論 定價一圓 送料十錢
藤波瀧田著 應用 家庭醫學 定價一圓五十錢 送料廿四錢
澁澤榮一述 論語と算術 定價一圓 送料八錢
長田幹彥著 紅夢集 定價九十五錢 送料十錢
木村想一著 利用 最新家具製作法 定價一圓三十錢 送料廿四錢
京城本町二丁目 電話一四四一番 振替口座五一一五番

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店 發賣元 櫻正宗 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

花柳病專門藥房
りん病藥壹週分普武圓特製參圓 ばい毒藥壹週分普壹圓廿錢特製貳圓 小包料拾貳錢引換廿壹錢
近來東京其他各地に僞ドラッグあり藥品に有田製鑑なき物は凡て僞物に付御買取の際御注意を乞ふ◉詳細は本月四日の本紙を御覧乞
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部 電話園二五六七番 振替京城四六七番

御料 御園白粉

御園白粉は濃くも淡くもお望みの儘の綺麗な化粧が出來ますので、始めて御使になる方にも極く手輕に美しく着きます。

御園白粉を二度三度と引續てお附遊ばせば、自然と肌に馴染んで來て、お顔色が見違る程白くなり色艶を麗しく致します。

御料御園白粉 本舖 伊東胡蝶園
御料御園白粉 發賣元 丸見屋商店
(177)

質 京城黃金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所(電話六三九番)

大邱浦項間自動車時間
上り 浦項發 … 大邱着 …
下り 大邱發 … 浦項着 …
大邱出張所 電話七番
大塚農場自動車部 電話一二七番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦潮行 月 日後十時出帆
○立神丸 元山、淸津、浦潮行 月 日後十時出帆
○小倉丸 元山、城津、浦潮行 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 第三琴平丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○天眞丸
釜山港立町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
第一共同丸 芝罘、大連行 九月二十九日後四時入 十月一日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて旅客通辦連絡取扱仕候 大連にては青島行定期船接續致し旅客貨物共に直航船と同樣取扱可仕候
○城津、淸津、浦潮行(元山出帆)
第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
仁川代理店 本町一丁目 阿波國共同汽船株式會社 電話一〇八番
元山代理店 春日町 山下回漕部 電話二四〇番
京城取次店 南大門 河村運送店 電話二六八二〇〇七

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月一日 正午出帆
高砂丸 九月十九日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町十一丁目 電話 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪直行
君が代丸 十月三日後四時出帆
大有丸 十月四日後四時出帆
神代丸 九月 日後四時出帆
秀吉丸 九月三十日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船仁川出帆
本社 電話長一九二一番 鐵道連絡及社外船と旅客貨物の連絡取扱は出張所代理店、旅客取扱所に御照會を乞ふ
京城南大門前 京城旅客取扱所 松原運送店(電話長一七〇一)
全羅丸 京畿丸 黃海丸 咸鏡丸 十月九日 九月廿九日 十月三日 十月十三日 門司より釜山各港寄港基隆間航路 釜山發
昌平丸 慶城丸 一日 九月廿八日 十月四日 元山より各港經由雄基行 元山發
忠淸丸 平壤丸 十月二日 九月 日 城津淸津浦潮行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
永興丸 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發
鎭德丸 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 十月 日 釜山發
江陵丸 襄陽丸 長生浦方魚津寄港 毎日 釜山發 浦項發
三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 十月六日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶賓丸 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由鴨綠水行 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 十月四日 木浦發
○慶興丸 南多島海列島行(月三回) 十月一二日 木浦發
○公州丸 九月 日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由、龍洞又は白翎島行 十月三日 仁川發
○江原丸 仁川、大連、芝罘行 九月 日 仁川發
○晉州丸 ○麗水丸 各港經由木浦行 十月二日 九月 日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路近海航路を除く〕同航路船便の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
須磨丸 十月四日
安東丸 十月一日 後五時出
天智丸 十月七日
×木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
×信濃川丸 十月二十日 後二時出
×信濃川丸 十月四日
○群山、釜山、横濱行
福州丸 十月九日 後二時出
潮州丸 九月三十日
△南浦、關門、神戸、大阪行
△漳州丸 九月廿九日 後二時出
○鎭南浦、大連行
×信濃川丸 九月廿九日 後二時出
×信濃川丸 十月十五日
○大連直行
福州丸 十月三日
潮州丸 十月十五日 正午出帆
○鎭南浦行
天智丸 九月 日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆)
▲城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
印平丸 十月六日 後二時出
安平丸 十月十二日
宮島丸
▲上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 十月廿六日 後四時出
北陸丸 十月十一日 前六時出
御注意 ◉朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ◉御乘船客は本船出帆の一時間前迄に御通知被下度候 ◉×印は船客取扱不仕△印は船客取扱可仕候
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇五五番
京城切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
◉中華民國各港行船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

商況
大阪三品
十二月限 一五三、七〇 一五三、九〇
一月限 一五三、〇 一五三、七〇
大阪期米(前場)
寄付 三二、八五 三三、三二 三三、五九
高値 三三、三二 三三、五九
安値 三三、一七 三三、三五
引 [illegible]
と安移りに接したる買り込み來る手口なく大阪の五節〇六錢止〇三錢と安入電に接したるより右錢と押したるも買物絶へず七錢と値付けの後に下げ鞘りの成行を示して散會
▲大阪期米 [illegible]
▲後場の不振 重なる商內買方の三千餘石分塞の母各千餘石等に對し賣方廿六千五六百石にて他は小口物見であつた
▲[illegible]能く賣る [illegible]
の氣を生し己に新市場會を待つの人氣となり錢に情報商々たる者ありしが俄然今後場に於て大阪の不勢を受けたるにも拘らず昔より夜物に買立てたるより市場の一同にて例の實日高の買物は [illegible]
▲現物界 保合相場も將に變動の期に近づきたる者の如し不知今後の成行や果して如何 地搗玄米十二圓五十五錢同十一圓七十五錢にて百三十 [illegible]
寄付 十二圓四十七錢
高値 十二圓四十八錢
安値 十二圓四十六錢
引 [illegible]
十月限 六千八百石
十一月限 十四萬五千五百五十石